
令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 清風会



SEIFUKAI GROUP

目次

| | |
|------|-------|
| 法人本部 | P1~12 |
|------|-------|

高齢者施設

| | |
|----------------------|--------|
| 高齢者施設・事業所 月別利用状況 | P13 |
| ● 特別養護老人ホーム 洸寿園 | P14~17 |
| ● 金隈老人保健施設 フラワーハウス博多 | P18~23 |
| ● ケアハウス エスペランザ | P24~28 |
| ● 特別養護老人ホーム 東かなまち桜園 | P29~33 |
| ● 金の隈訪問介護ステーション | P34~36 |

保育園

| | |
|------------|--------|
| 保育園 月別利用状況 | P37~40 |
| ● 御幸保育園 | P41~42 |
| ● 日の里東保育園 | P43~44 |
| ● 五十川保育園 | P45~47 |
| ● 香住ヶ丘保育園 | P48~49 |
| ● 平等寺保育園 | P50~51 |
| ● 東かなまち保育園 | P52~53 |
| ● 大塚第一保育園 | P54~55 |
| ● 大塚第二保育園 | P56~57 |

はじめに

令和3年(2021年)7月、開催が延期されていた東京オリンピック・パラリンピックがコロナ禍の中、感染症対策を徹底して開催されました。日本は史上最多のメダルを獲得し、世界中に大きな感動を与えました。しかし、感染の波は未だに収まらず、以前と同じ日常は取り戻すことができていません。当法人もこの2年間、感染症への対策を行いながら事業運営を継続してまいりました。ワクチンを早い時期に接種できた高齢者施設においては、利用者・職員の陽性者の発生は抑えられましたが、接種対象となっていない子どもを預かる保育園では陽性となる園児が増え、クラス閉鎖が相次ぎました。ウイルスは変異を繰り返し、感染力を増していますが、基本的な感染防止対策以上に有効な対策はなく、引き続き注意していかなければなりません。

令和4年2月にはロシアが隣国のウクライナに軍事侵攻を開始しました。市街地は廃墟と化し、数多くの民間人が犠牲となるなど戦争の悲惨さと恐ろしさを目の当たりにしています。今の私たちの生活が、平和と安全の上に成り立っていることを改めて認識し、一刻も早く終戦が実現すること願うばかりです。グローバル化した現代の国際社会の中にあっては、遠い国で起きている戦争であっても、政治的、経済的な影響は避けられません。資源に乏しく、食糧やエネルギーの供給を海外に依存している日本では、今後、エネルギー供給不足や物価の高騰が懸念されます。世界は国際秩序が揺らぎ対立が表面化し、不安定な時代に突入しています。国際情勢の変化次第では、経営環境も変化する可能性があることを認識し、今後、様々なリスクを想定し備えておく必要があります。

1. 事業概要

| | 施設名 | 施設種別 | 所在地 |
|--------------------|--------------------|----------------------|--------|
| 高齢者 介護・ 福祉事業 | 特別養護老人ホーム 洗寿園 | 特養・短期入所 | 福岡市博多区 |
| | 金隈老人保健施設 フラワーハウス博多 | 老健・短期入所・通所リハ 訪問リハ | 福岡市博多区 |
| | フラワー介護プランサービス | 居宅介護支援 | |
| | ケアハウス エスベランザ | 軽費老人ホーム | 福岡市博多区 |
| | 特別養護老人ホーム 東かなまち桜園 | 特養・短期入所 | 東京都葛飾区 |
| | 金の隈訪問介護ステーション | 訪問介護 | 福岡市博多区 |
| 保育事業 | 御幸保育園 | 保育所・小規模保育 家庭的保育 | 福岡市東区 |
| | 日の里東保育園 | 保育所 | 宗像市 |
| | 五十川保育園 | 保育所・分園・小規模保育 | 福岡市博多区 |
| | 香住ヶ丘保育園 | 保育所・分園 | 福岡市東区 |
| | 平等寺保育園 | 保育所 | 宗像市 |
| | 東かなまち保育園 | 保育所 | 東京都葛飾区 |
| | 大塚第一保育園 | 保育所 | 福岡市西区 |
| | 大塚第二保育園 | 保育所 | 福岡市西区 |

2. 沿革

| | |
|------------------|------------------------------|
| 昭和 51 年 1 月 20 日 | 社会福祉法人認可 |
| 昭和 51 年 2 月 23 日 | 社会福祉法人登記 |
| 昭和 51 年 4 月 1 日 | 日の里東保育園 開設（宗像市） |
| 昭和 51 年 5 月 1 日 | 御幸保育園 開設（福岡市東区） |
| 昭和 53 年 4 月 1 日 | 五十川保育園 開設（福岡市博多区・旧北栄会） |
| 昭和 53 年 5 月 22 日 | 特別養護老人ホーム洗寿園 開設（福岡市博多区） |
| 昭和 55 年 4 月 1 日 | 香住ヶ丘保育園開設（福岡市東区・旧藤栄会） |
| 平成 2 年 10 月 24 日 | 介護老人保健施設フラワーハウス博多 開設 |
| 平成 8 年 4 月 26 日 | ケアハウスエスペランザ 開設（福岡市博多区） |
| 平成 16 年 4 月 1 日 | 平等寺保育園 開設（宗像市・旧藤栄会） |
| 平成 21 年 4 月 1 日 | 福岡市より博多区第 4 地域包括支援センターの運営を受託 |
| 平成 24 年 3 月 31 日 | 清風会館 竣工 |
| 平成 24 年 10 月 1 日 | 社会福祉法人北栄会及び社会福祉法人藤栄会を吸収合併 |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 特別養護老人ホーム東かなまち桜園 開設（東京都葛飾区） |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 東かなまち保育園 開設（東京都葛飾区） |
| 平成 27 年 3 月 31 日 | 博多第 4 地域包括支援センターの受託終了 |
| 平成 30 年 4 月 1 日 | 大塚第一保育園・大塚第二保育園 開設（福岡市西区） |
| 平成 30 年 6 月 1 日 | 金の隈訪問介護ステーション 開設（福岡市博多区） |

3. 役員等

| | | | |
|-----|--------------------|-----------------|--------------------------|
| 理 事 | 手嶋 常次（理事長） 山岡 寿 | 喜多岡 陽子 村尾 俊明 | 平山 雅敏 山下 裕子 |
| 監 事 | 井 保則 | 坂田 圭介 | |
| 評議員 | 上村 孝志 末松 祐而 | 大橋 晋弘 黒岩 尚昭 | 雲田 光信 柴田 凱夫 茶井 千恵子 |

4. 事業の経過・実績及び対処すべき課題

○法人全体

令和3年度の決算は、事業別では、保育事業は前年度比で増収増益となり、黒字を確保できましたが、高齢者事業は多額の寄付もあり、増収とはなったものの、大規模改修や内部改修の工事費用を計上したことにより大幅な赤字を計上しています。この結果、法人全体でも大幅な赤字となりました。拠点によっては利用者の確保ができず赤字を計上したところもあるため、経営の根幹である利用者確保を最優先課題として経営改善に取り組む必要があります。

新型コロナウイルス感染症は、大規模なクラスターの発生はありませんでしたが、保育園においては子どもの陽性者が増え、クラスを閉鎖するケースが増えました。法人では、新型コロナに関する特別休暇制度を創設し、職員やその家族等が感染した場合には有給の休暇を付与し、安心して療養できる環境を整えました。今後は感染拡大を防止しながら、日常生活や経済社会活動を継続できるよう行動制限の緩和を進めていくという国の方針のもと、これまで同様、利用者や職員の感染防止を徹底してまいります。

介護・保育の分野で最も大きな課題となっている人材確保に関しては、職員の紹介制度や県外からの採用者に対する転居費用の助成制度を整備するなどの取り組みを行いました。求職者に対しても、ホームページやSNSを利用し、施設のことを広く知ってもらうよう努めています。保育園では実習受け入れを通して、養成校と良好な関係を築き、新卒者の採用につなげることができました。また、高齢者施設では、介護の専門学校から奨学金を受けている外国人留学生を採用することができました。こうした採用ルートを今後も活用し、安定した採用につなげていきたいと考えています。拠点によっては離職率が高く、人材紹介や派遣の利用が増えた結果、コストが上昇し、経営を圧迫しています。採用に関しては、今後も多方面の取り組みを行い、コスト削減に努めてまいります。

令和3年度は、法人の役員・評議員の一斉改選が行われ、一部が交代いたしました。また、高齢者施設では4施設、保育園では2園の施設長・園長が交代しました。各施設が新たな体制となりましたが、拠点同士相互に連携・協力し、課題を一つ一つ解決していきたいと考えます。人材の育成・定着については、拠点のみで行う人材育成は、職員が知識や経験を積む場や成長する機会が限られているため、今後は法人全体で職員のキャリアアップを図っていく必要があると考えます。

○高齢者介護・福祉事業

高齢者介護・福祉事業では、東かなまち桜園の利用実績の回復は今年度も進まず、さらに減収となり大きな赤字を計上しました。補正予算で福岡の高齢者施設から資金を繰り入れ、東かなまち保育園からは借地の保証金分を回収して資金繰りを支えていましたが、令和4年度には新たに運転資金を借り入れることとなりました。利用者確保が最優先の課題となっています。

金の隈訪問介護ステーションは、収支は改善傾向となっていましたが、障がい福祉サービスに従事する人材を確保できず、事業を縮小する事態となりました。

フラワーハウス博多は、年度前半はクラスター発生の影響を受けため利用実績が落ち込みましたが、後半は回復し、在宅復帰率も高い水準で維持することができたため、基本報酬単価が高い「超強化型」で介護報酬の算定ができるようになりました。この状態を令和4年度も維持できるように、利用者の確保とともに在宅復帰支援に取り組んでいきます。

洸寿園・エスペランザは年間を通して安定した利用実績で推移し、計画通りに工事を完了することができました。

○保育事業

保育事業では、0歳児の確保に時間がかかりましたが、年度後半にはほとんどの園で定員が埋まりました。事業全体では利用率が96.6%となり、決算では黒字を確保できています。五十川保育園・香住ヶ丘保育園では、将来の経費負担を軽減するため、積立金を積み立て、令和4年度には長期借入金の一部繰り上げ償還を行う予定です。

コロナ禍の中で、少子化スピードがこれまでの予測よりも速くなっており、また、育児休業制度の改定や職場環境の整備が進んだ結果、保育園への入所時期が遅くなり、0歳児の確保は今後ますます厳しくなると見込まれます。開設5年目となる大塚第一・第二保育園でその傾向は強く、定員は埋まりましたが、最終的には赤字決算となりました。東かなまち保育園は、年度当初より定員を超える園児が在籍していましたが、借地料負担が大きく、2年連続の赤字となっています。保育士配置を見直すなど、収支の改善を図ってまいります。

平等寺保育園では、利用率は80%程度で推移しましたが、補助金が当初見込みよりも多く、また、支出も抑えられたため、年度末支払資金残高が当年度の委託費収入の30%を超える結果となりました。来年度は予算管理を徹底し、必要ならば積立金の積み立てを検討いたします。

県内においては、他の法人で送迎車両から園児を降ろし忘れ、死亡させてしまう痛ましい事故が起きました。子どもの健康と生命が安全に守られるよう、当法人でも安全管理体制を徹底し、事故を未然に防ぐ努力を続けてまいります。

新型コロナウイルス感染症は、オミクロン株の流行とともに子どもの感染者が増え、保育園の休園が全国的な問題となりました。各園においては、行事や活動を縮小して行っていましたが、そのような中でも、園児や保護者に何とか喜んでもらえるように、アイデアを出し合い、いろいろな工夫をして園生活を楽しんでもらえるよう努めました。

保育システムは全ての園で導入が完了し、職員の業務負担が大きく軽減されました。新型コロナによるクラス閉鎖の連絡には大きな効果を発揮しています。今後も活用の幅を広げ、業務の効率化につなげていきたいと考えています。

5. 会議実績

| 1. 理事会 | | | | | |
|--------|----------------|------------------|--|--|--|
| 回 | 開催日 | 出席 | 主な審議事項 | 結果 | 備考 |
| 1 | R3.6.10 | 理事 6 名 監事 2 名 | ①令和 2 年度事業報告(案)・決算報告(案)について ②人事異動について ③規程の制定・変更について ④任期満了に伴う理事・監事候補者の推薦の提案について ⑤任期満了に伴う評議員候補者の推薦の提案について ⑥任期満了に伴う評議員選任・解任委員（外部委員）の選任について ⑦会計監査人候補者の推薦及び監査報酬について ⑧洗寿園 入居者用家具（ローチェスト）の入れ替えについて ⑨フラワーハウス博多 設備・備品の更新について ⑩エスペランザ 看取り室及び相談室改修工事計画について ⑪令和 3 年度第 1 次補正予算（案）について ⑫平等寺保育園 保育室面積変更及び保育室の入れ替えの届出について ⑬土地（サンブライト博多Ⅱ跡地）の購入について ⑭評議員選任・解任委員会の招集について ⑮評議員会の招集について | 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 |
| 2 | R3.6.26 | 理事 6 名 監事 2 名 | ①理事長の選任について ②エスペランザ施設長交代時期の変更について | 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 |
| 3 | 決議日 R3.8.5 | 決議の 省略 | ①洗寿園・フラワーハウス博多 料金表の改定について ②フラワーハウス博多 就業規則別表の変更について | 同意 同意 | 全員同意 全員同意 |
| 4 | 決議日 R3.9.14 | 決議の 省略 | ① フラワーハウス博多 施設長の交代について | 同意 | 全員同意 |
| 5 | R3.10.9 | 理事 6 名 監事 2 名 | ①エスペランザ（独法）福祉医療機構の借入金にかかる担保提供について ②令和 3 年度 第 2 次補正予算（案）について ③第 2 回評議員会の招集について | 承認 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 賛成多数 |
| 6 | R3.12.4 | 理事 6 名 監事 2 名 | ①令和 3 年度中間決算報告について ②就業規則の変更について ③コンプライアンス基本方針及び関係規程の整備について ④福岡介護福祉専門学校奨学会の奨学金貸与規程について ⑤洗寿園 エスペランザ改修工事等に係る入札について | 承認 承認 承認 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 |

| | | | | | |
|---|----------------|------------------|---|----------------------------------|--|
| 7 | R4.3.12 | 理事 6 名 監事 2 名 | ①令和 3 年度第 3 次補正予算案について ②東かなまち校園 運転資金の借り入れについて ③令和 4 年度事業計画案、当初予算案について ④規則・規程の変更について ⑤施設長の選任について ⑥福岡県介護福祉就学資金の連帯保証人について ⑦評議員会の招集について | 承認 承認 承認 承認 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 |
| 8 | 決議日 R4.3.28 | 決議の 省略 | ① 大塚第一保育園 園長代理の任命について | 同意 | 全員同意 |

| 2. 評議員会 | | | | | |
|---------|---------|-------------------|---|----------------------------|--------------------------------------|
| 回 | 開催日 | 出席 | 主な審議事項 | 結果 | 備考 |
| 1 | R3.6.26 | 評議員 6 名 監事 2 名 | ①令和 2 年度事業報告(案)・決算報告(案)について ②令和 3 年度第 1 次補正予算(案)について ③任期満了に伴う理事・監事の選任について ④任期満了に伴う会計監査人の選任について ⑤定款変更(基本財産<土地>の追加)について | 承認 承認 承認 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 賛成多数 |
| 2 | R3.10.9 | 評議員 6 名 監事 2 名 | ①エスベランザ(独法)福祉医療機構の借入金にかかる 担保提供について ②令和 3 年度 第 2 次補正予算(案)について | 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 |
| 3 | R4.3.26 | 評議員 7 名 監事 2 名 | ①令和 3 年度第 3 次補正予算(案)について ②令和 4 年度事業計画及び予算(案)について ③役員及び評議員の報酬等並びに費用弁償に関する規 程の変更について | 承認 承認 承認 | 賛成多数 賛成多数 賛成多数 |

| 3. 経営会議 | | | | | |
|---------|--------|-------------------|---|----|----|
| 回 | 開催日 | 出席 | 主な審議事項 | 結果 | 備考 |
| 1 | R3.4.8 | 委員 11 名 書記 3 名 | ①高齢者事業の人材確保策について ②フラワーハウス博多 感染性廃棄物処理の契約について(新型コロナウイルス感染 対策) ② 保育園に配置する看護師の業務について | | |
| 2 | R3.5.6 | 委員 11 名 書記 3 名 | ①令和 2 年度事業報告・決算報告について ②人事異動について ③規程の制定及び変更について ④会計監査人の契約変更について ⑤洸寿園 入居者家具の入れ替えについて ⑥フラワーハウス博多 設備・備品の更新について | | |

| | | | |
|----|---------|-------------------|---|
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ⑦エスペランザ 看取り室及び相談室改修工事計画について（補助金事業） ⑧令和3年度第1回理事会の開催について |
| 3 | R3.6.3 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①令和2年度事業報告・決算報告について ②令和3年度第1次補正予算の編成について ③新 理事・監事・評議員候補者について ④評議員選任・解任委員（外部委員）候補者について ⑤エスペランザ 施設長の交代について ⑥保育事業の人材確保策について ⑦規程の変更について ⑧フラワーハウス博多 空調設備・自家発電設備の更新について ⑨平等寺保育園 保育室面積変更及び保育室の入れ替えの届出について ⑩保育園における AED の設置について ⑪土地（サンブライト博多Ⅱ跡地）の購入について |
| 4 | R3.7.8 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①介護保険施設の基準費用額引き上げに伴う食費の改定について ②会計事故報告書について ③リスクマネジメントに関する研修について ④介護・保育の利用者確保につながる取り組みについて |
| 5 | R3.8.5 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①経営会議運営細則（別表）及び会議体規程（別表）の変更について ②第3回理事会について ③令和3年度第1四半期の収支状況について ④介護における地域連携について |
| 6 | R3.9.2 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①エスペランザ パソコンシステムの入替計画について ②保育士の適正配置について |
| 7 | R3.10.7 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度第2次補正予算（案）について ②保育園 進退伺の結果に伴う今後の求人活動の在り方について ③保育園 合理的な待遇差についての業務内容の整理と時給加算制度の創設（案）について ④エスペランザ 就業規則別表（休日日数）の変更について ⑤理事会・評議員会の開催について |
| 8 | R3.11.4 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①令和3年度中間決算報告について ②コンプライアンス基本方針及び関係規程の整備について ③福岡介護福祉専門学校奨学会の介護福祉士養成奨学金貸与規程について ④就業規則の変更について ⑤理事会の開催について |
| 9 | R3.12.2 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①洸寿園・エスペランザ改修工事等に係る入札について ②ストレスチェック結果への対応について ③令和4年度予算について |
| 10 | R4.1.13 | 委員 11 名 書記 3 名 | <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度事業計画案及び当初予算案の作成について ②役員等の報酬規程の変更について |

| | | | |
|----|--------|-------------------|--|
| | | | ③駐車場利用規程の制定について ④御幸・大塚第一・大塚第二保育園 重要事項説明書の変更について ⑤保育園 給与規程の変更について ⑥新たな処遇改善への対応について ⑦フラワーハウス博多 非常勤給与規程の変更について |
| 11 | R4.2.3 | 委員 11 名 書記 3 名 | ①令和 3 年度第 3 四半期の決算状況 ②就業規則等の変更について ③福岡県介護福祉士就学資金貸付契約の変更申請について ④組織体制について ⑤東かなまち桜園 運転資金の借り入れについて |
| 12 | R4.3.3 | 委員 11 名 書記 3 名 | ①令和 3 年度第 3 次補正予算(案)について ②令和 4 年度事業計画(案)、当初予算(案)について ③施設長の交代について ④規則・規程の変更について ⑤法人独自の週休代替値の導入と職員融通制度の活用について ⑥令和 3 年度第 7 回理事会の開催について |

6. 監査実績

(1) 監事監査

①定期監査

| | |
|---------------|---|
| 実施日及び 実施施設 | 令和 3 年 10 月 25 日 五十川保育園・大塚第一保育園・大塚第二保育園 令和 3 年 10 月 26 日 香住ヶ丘保育園・御幸保育園 令和 3 年 10 月 27 日 日の里東保育園・平等寺保育園 令和 3 年 10 月 28 日 洸寿園・フラワーハウス・エスペランザ・ 金の隈訪問介護ステーション |
| 出席監事 | 井保則 坂田圭介 |
| 立会役職員 | 施設長・事務長・事務担当者・本部職員 |
| 監査内容 | (1)職員の配置・勤怠・採用管理の状況 (2)年次有給休暇の管理状況 (3)超過勤務の管理状況 (4)預金・小口現金・預り金・公印の管理状況 (5)給食材料仕入れ状況 (6)業務引継関係 (7)その他 |
| 監査結果 | 指摘事項なし |

②決算監査

| | |
|-------|--------------------|
| 実施日 | 令和3年5月24日・27日 |
| 出席監事 | 井土芳邦 井保則 |
| 立会役職員 | 施設長・事務長・事務担当者・本部職員 |

(2) 業務管理体制検査（子ども・子育て支援法）

| | |
|------|------------|
| 実施日 | 令和3年10月3日 |
| 実施方法 | 一般検査（書面検査） |
| 検査結果 | 指摘事項なし |

(3) 指導監査

①日の里東保育園

| | |
|--------------------------------------|---|
| 実施日 | 令和3年8月3日 |
| 指摘事項 (B項目以上 または 文書指導以上) | <p>(福岡県)</p> <p>○保育所経理</p> <p>・前期末支払資金残高の取崩し額が事業収入予算額の3%を超えることについて、理事会の承認を得たことを、議事録で明らかにしてください。</p> <p>(宗像市)</p> <p>○施設運営</p> <p>・施設設備（遊具等）の安全点検について、週1回以上実施されていませんでした。少なくとも週に1回以上点検し、記録に残してください。</p> <p>・防災訓練についてのカリキュラムが策定されていませんでしたので、カリキュラムを策定してください。毎月の訓練は策定したカリキュラムを基に実施し、反省を含めた実施記録を残し、次年度のカリキュラム作成につなげてください。</p> <p>・不審者対応訓練が実施されていませんでした。コロナ禍において他機関との日程調整が難しかった事情は理解できますが、不審者への備えのため園内でできる訓練を検討し実施してください。</p> |

②平等寺保育園

| | |
|---------------------|--|
| 実施日 | 令和3年8月3日 |
| 指摘事項 (B区分以上) | <p>(宗像市)</p> <p>○施設運営</p> <p>・施設設備の安全管理について、長年マニュアルの見直しや改訂が行われていませんでした。マニュアルについては、各種通知やガイドラインをもとに定期的に見直し、園内での情報共有を図ってください。</p> |

(4) 福岡市定期監査（令和 3 年 12 月）

| | |
|-----|---|
| 五十川 | <p>(保育園)</p> <p>○施設運営</p> <ol style="list-style-type: none">1 リーダー手当の支給もれによる時間外手当の 1 時間当たり単価の算定が誤っているものがありましたので、修正を行い、差額を追加支給してください。2 住居手当・勤続手当の支給額が誤っているものを修正してください。3 家賃助成手当に支給もれがありましたので、追加支給してください。4 リーダー手当に支給もれがありましたので、追加支給してください。5 入園のしおりの延長保育の項目において、「月極契約をされる方は、延長保育事業申込書に記入の上、勤務証明書と共に原則として利用開始月の前月 20 日までにお申し込みください。」との記載がありますが、仕事の有無に限らず、希望者については保育を行う必要がありますので、誤解を招かないよう、記載を改めてください。 <p>(小規模保育)</p> <p>○施設運営</p> <ol style="list-style-type: none">1 手当に支給もれがありましたので、追加支給してください。 <p>○保育</p> <ol style="list-style-type: none">1 新規採用職員について、採用時の検便を実施してください。 |
| 御幸 | <p>(保育園)</p> <p>○施設運営</p> <ol style="list-style-type: none">1 各種リーダー手当の支給に関しては、対象職員に、辞令で役割等を明示してください。2 入園のしおりの延長保育の項目において、「月極契約をされる方は、延長保育事業申込書に記入の上、勤務証明書と共に原則として利用開始月の前月 20 日までにお申し込みください。」との記載がありますが、仕事の有無に限らず、希望者については保育を行う必要がありますので、誤解を招かないよう、記載を改めてください。3 避難経路（の非常口）には、通行の障害となるものを放置しないでください。 <p>(小規模保育・家庭的保育)</p> <p>○施設運営</p> <ol style="list-style-type: none">1 時間外勤務手当の 1 時間当たり単価の算定は、各種リーダー手当を算定基礎に含んで行ってください。また、当該手当を算定基礎に含まずに 1 時間当たりの単価を計算しているものについては、修正を行い、差額を追加支給してください。2 各種リーダー手当の支給に関しては、対象職員に発令や職務命令を行ってください。 |

| | |
|------|---|
| 香住ヶ丘 | <p>○施設運営</p> <p>1 施設の見やすい場所に、重要事項説明書を掲示してください。</p> <p>2 雇い入れ時の健康診断において、未受診の検査項目がありましたので、もれなく受診してもらってください。</p> <p>3 給与辞令に奨学金支援手当の金額を記載してください。</p> |
| 大塚第一 | <p>○施設運営</p> <p>1 施設の見やすい場所に、重要事項説明書を掲示してください。</p> <p>○経理</p> <p>1 前期末支払資金残高を法人本部の運営経費に充当する場合は、事前に市との協議を行ってください。</p> |
| 大塚第二 | <p>○施設運営</p> <p>1 施設の見やすい場所に、重要事項説明書を掲示してください。</p> <p>2 雇い入れ時の健康診断において、未受診の検査項目がありましたので、もれなく受診してもらってください。</p> <p>○経理</p> <p>1 前期末支払資金残高を法人本部の運営経費に充当する場合は、事前に市との協議を行ってください。</p> |

社会福祉法人清風会 高齢者施設・事業所 月別利用状況

令和3年度

| 施設名 | 施設種別 | 定員 | | 利用状況 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計・平均 |
| 光寿園 | 特養 (短期含) | 100 | 末日在籍 | 99 | 96 | 97 | 99 | 98 | 95 | 96 | 98 | 97 | 98 | 98 | 97 | 97.3 |
| | | | 月間延数 | 2,905 | 2,993 | 2,914 | 3,048 | 3,045 | 2,940 | 2,959 | 2,935 | 3,041 | 2,950 | 2,736 | 2,926 | 35,392 |
| | | | 日平均 | 96.8 | 96.5 | 97.1 | 98.3 | 98.2 | 98.0 | 95.4 | 97.8 | 98.0 | 95.1 | 97.7 | 94.4 | 97.0 |
| | | | 利用率 | 96.8% | 96.5% | 97.1% | 98.3% | 98.2% | 98.0% | 95.4% | 97.8% | 98.0% | 95.1% | 97.7% | 94.4% | 97.0% |
| 東かなまち 桜園 | 特養 | 140 | 末日在籍 | 124 | 125 | 122 | 112 | 112 | 114 | 113 | 116 | 117 | 115 | 120 | 119 | 117.4 |
| | | | 月間延数 | 3,680 | 3,701 | 3,553 | 3,523 | 3,477 | 3,385 | 3,551 | 3,430 | 3,634 | 3,601 | 3,302 | 3,655 | 42,492 |
| | | | 日平均 | 122.7 | 119.4 | 118.4 | 113.6 | 112.2 | 112.8 | 114.5 | 114.3 | 117.1 | 116.2 | 117.9 | 117.9 | 116.4 |
| | | | 利用率 | 87.6% | 85.3% | 84.6% | 81.2% | 80.1% | 80.6% | 81.8% | 81.6% | 83.6% | 83.0% | 84.2% | 84.2% | 83.2% |
| | 特養 (短期) | 20 | 末日在籍 | 12 | 13 | 16 | 11 | 12 | 7 | 13 | 19 | 12 | 10 | 15 | 14 | 12.8 |
| | | | 月間延数 | 465 | 480 | 437 | 453 | 453 | 441 | 438 | 468 | 488 | 402 | 330 | 451 | 5,306 |
| | | | 日平均 | 15.5 | 15.5 | 14.6 | 14.6 | 14.6 | 14.7 | 14.1 | 15.6 | 15.7 | 13.0 | 11.8 | 14.5 | 14.5 |
| | | | 利用率 | 77.5% | 77.4% | 72.8% | 73.1% | 73.1% | 73.5% | 70.6% | 78.0% | 78.7% | 64.8% | 58.9% | 72.7% | 72.6% |
| フワフワハウス博多 | 老健 (短期含) | 138 | 末日在籍 | 119 | 119 | 126 | 130 | 127 | 129 | 132 | 130 | 131 | 133 | 136 | 133 | 128.8 |
| | | | 月間延数 | 3,538 | 3,672 | 3,667 | 3,876 | 4,018 | 3,830 | 4,034 | 3,910 | 4,049 | 4,099 | 3,738 | 4,135 | 46,566 |
| | | | 日平均 | 117.9 | 118.5 | 122.2 | 125.0 | 129.6 | 127.7 | 130.1 | 130.3 | 130.6 | 132.2 | 133.5 | 133.4 | 127.6 |
| | | | 利用率 | 85.5% | 85.8% | 88.6% | 90.6% | 93.9% | 92.5% | 94.3% | 94.4% | 94.6% | 95.8% | 96.7% | 96.7% | 92.5% |
| | 通所リハ | 20 | 月間延数 | 273 | 225 | 223 | 257 | 249 | 284 | 336 | 356 | 338 | 265 | 202 | 281 | 3289.0 |
| | | | 日平均 | 10.5 | 8.7 | 8.6 | 9.5 | 9.6 | 10.9 | 12.9 | 13.7 | 13.0 | 11.0 | 8.4 | 10.4 | 10.6 |
| | | | 利用率 | 52.5% | 43.5% | 43.0% | 47.5% | 48.0% | 54.5% | 64.5% | 68.5% | 65.0% | 55.0% | 42.0% | 52.0% | 53.0% |
| | 訪問リハ | - | 利用者数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| | | | 訪問回数 | 8 | 6 | 4 | 1 | 1 | 7 | 11 | 6 | 9 | 9 | 9 | 11 | 82 |
| | 居宅支援 | - | 件数 | 69 | 70 | 69 | 70 | 67 | 75 | 74 | 74 | 76 | 72 | 77 | 77 | 73 |
| エスぺランザ | 軽費 | 150 | 末日在籍 | 144 | 147 | 145 | 145 | 144 | 144 | 144 | 141 | 141 | 143 | 142 | 141 | 143.4 |
| | | | 利用率 | 96.0% | 98.0% | 96.7% | 96.7% | 96.0% | 96.0% | 96.0% | 94.0% | 94.0% | 95.3% | 94.7% | 94.0% | 95.6% |
| 金の限訪問 介護ステーション | 訪問介護 保険内 | - | 契約者数 | 58 | 58 | 58 | 57 | 53 | 56 | 54 | 55 | 55 | 56 | 54 | 30 | 54 |
| | | | 訪問回数 | 345 | 366 | 340 | 340 | 324 | 323 | 285 | 317 | 340 | 330 | 330 | 350 | 332.5 |
| | 訪問介護 保険外 | - | 契約者数 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| | | | 提供回数 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.3 |
| | 訪問介護 障がい福祉 | - | 契約者数 | 19 | 18 | 18 | 18 | 18 | 19 | 19 | 20 | 20 | 20 | 20 | 0 | 17.4 |
| | | | 提供回数 | 183 | 181 | 221 | 221 | 180 | 209 | 205 | 213 | 216 | 184 | 170 | 94 | 189.8 |
| | 訪問介護 移動支援 | - | 契約者数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 0 | 1.8 |
| | | | 提供回数 | 18 | 25 | 17 | 17 | 8 | 18 | 24 | 21 | 18 | 14 | 12 | 8 | 16.7 |

特別養護老人ホーム 洗寿園

1. 施設概要

| | |
|---------|---|
| 施設所在地 | 福岡市博多区金の隈 3-24-55 |
| 施設長氏名 | 山岡 寿（令和 3 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日） 山田 栄（令和 3 年 7 月 1 日～） |
| 事業開始年月日 | 昭和 53 年 5 月 22 日 |
| 実施事業・定員 | 介護老人福祉施設（定員 100 名） （介護予防）短期入所生活介護（空床利用型） |

2. 沿革

| | |
|------------------|---|
| 昭和 53 年 5 月 20 日 | 特別養護老人ホーム洗寿園 認可 |
| 昭和 53 年 5 月 22 日 | 特別養護老人ホーム洗寿園 開園 |
| 昭和 55 年 4 月 1 日 | ショートステイ事業 開始（福岡市） |
| 昭和 62 年 4 月 1 日 | 施設機能強化推進事業 開始（福岡市） （処遇困難事例研究事業） |
| 平成元年 8 月 1 日 | ナイトケア事業開始（福岡市） |
| 平成元年 12 月 23 日 | 御下賜金 拝受 |
| 平成 9 年 10 月 1 日 | 老人介護支援センター事業 開始（福岡市） |
| 平成 12 年 3 月 31 日 | 介護保険施行に伴い、福岡市短期入所事業・老人介護支援センター事業受託契約解除 福岡市施設機能強化推進事業終了 |
| 平成 29 年 9 月 | 施設大規模改修工事終了 |
| 令和 3 年 3 月 | 個室化改修工事終了 |
| 令和 3 年 9 月 | 共用部改修工事終了 |

3. 事業経過

（1）施設利用状況

※利用状況の統計表は末尾参照

令和 3 年度の年間入居者延数は 35,392 人／稼働率 96.96％と、前年度（35,413 人／稼働率 97％）に僅かに及ばなかったものの、予算目標である稼働率 95％を超えることができた。今後もコロナ問題が稼働率に影響を及ぼす可能性を念頭に置き、スムーズな入居案内を進めて稼働率維持に努めたい。短期入所の延べ利用日数は 906 日（前年 1094 日）で、今年度は定期利用や入居希望者の長期利用だけでなく、緊急な利用受入や一時的な長期利用もあった。今年度行った入所判定会議（9 月・3 月）では、新規申込者を多数獲得することができている（36 名・42 名）。営業活動に大きく取り組めていないが、今後も問い合わせ一つ一つへ丁寧に対応し、入退院時に病院の相談員へ情報発信するなどの活動を大事にしたい。

（2）運営報告

① 委員会活動報告

各委員会では施設サービスのあり方や運営状況等を議題に、多職種の参

加により様々な視点から意見を出し合い、入居者の生活環境や職員の労働環境などの改善に取り組んでいる。未だ終息しない新型コロナウイルスへの対策についても重点的に話し合い、全職員で感染予防に努めている。今年度からは委員会リーダーが専任となって委員会運営を行っている。次年度においては新たなリーダーを選出し、委員会のさらなる活性化を図っていききたい。また、新たな活動として、管理者ミーティング、業務改善推進委員会(令和3年度のみ)が発足している。

② 行事実施報告

令和3年度も新型コロナウイルスの予防のため、施設内行事においては、大人数で集まることを避け、規模を縮小しているが、例年の敬老会やクリスマス会、花火大会に加え、新たにぜんざい会や写真展などの行事も開催することができ、入居者には喜んで頂けている。今後も新型コロナウイルスの接種状況や感染者数の推移を注視しつつ、入居者の楽しみのために実施可能な新たな行事や安全な開催方法、レクリエーションボランティアの活用等も検討していききたい。

③ 研修実施報告

令和3年度も引き続き、動画研修(メディパスアカデミー)を利用し、毎月決まったテーマを各職員のタイミングで学習した。今後も介護の知識向上に繋がるよう、より必要な内容を選択していく。

外部研修については新型コロナウイルスの影響で、ほぼ全ての研修がオンラインでの開催となっている。昨年と同様に参加件数は少なくなっており、研修に参加できた職員に偏りがあったため、次年度はより多くの職員が研修へ参加できるようにしていきたい。

④ 苦情受付数：3件（全て解決）

令和3年度は、職員の対応への苦情が1件、衣類の破損が2件発生している。コロナにより外部の方の立ち入りを制限し、外部の目が届かない今だからこそ、接遇を大切にした対応ができるよう全職員へ注意喚起、指導を行っている。また、コロナ対応や職員不足などの状況からくる職員及び入居者のストレスが少しでも軽減できるよう取り組んでいきたい。

⑤ 事故報告

- ・ 事故報告：305件(受診28件)／昨年度241件(受診17件)
- ・ 気づき報告：442件／昨年度386件

| 令和3年度 | 事故件数 | 受診 | 市町村報告 | 市町村報告内訳 | | | | |
|-------|------|----|-------|---------|----|----|----|-----|
| | | | | 骨折 | 誤嚥 | 異食 | 誤薬 | その他 |
| | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----|-----|----|----|----|---|-----|---|--------|
| 4月 | 26 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 5月 | 29 | 3 | 5 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 6月 | 23 | 2 | 9 | 0 | 0 | 5 | 1 | 3 |
| 7月 | 29 | 2 | 8 | 0 | 1 | 5 | 0 | 2 |
| 8月 | 25 | 1 | 6 | 0 | 1 | 1+3 | 0 | 1 |
| 9月 | 26 | 3 | 5 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| 10月 | 21 | 3 | 7 | 2 | 2 | 3 | 0 | 0 |
| 11月 | 33 | 3 | 6 | 2 | 1 | 2 | 0 | 1 |
| 12月 | 31 | 4 | 4 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 1月 | 24 | 2 | 8 | 0 | 1 | 5 | 0 | 2 |
| 2月 | 21 | 3 | 6 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3+1 疥癬 |
| 3月 | 17 | 2 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 305 | 28 | 68 | 11 | 7 | 31 | 1 | 18 |

令和3年度は、受診が必要な事故が増加している。転倒や介護中の事故などによる骨折事故が増えている。家族報告の際、不信感を与えてしまったケースもあった為、家族にきちんと説明を行えるように、ありのままの状態・状況を詳細に記録するとともに、高齢者の骨折リスクを把握した上で、普段からの見守り体制の強化や丁寧な介助に努めていきたい。

また、異食事故が昨年同様に多数発生している(前年26件)。主に2名の方による事故が大半を占めている。気付き報告が増え、事故が減少していない原因をリスク委員会等で検討し、事故防止対策を行っていく。

⑥地域交流・⑦ボランティア(受け入れ)

令和3年度は、コロナの影響により、地域活動への参加やボランティアの受け入れは中止した。

4. 総括

令和3年度は、昨年度に僅かに及ばなかったが、96.9%と高い稼働率を維持することができている。しかしながら、近隣の病院や老健でのコロナ感染者の発生は、利用者の入退院や入退所の一部に影響があり、施設内においては未だ入居者に感染者は出ていないものの、感染者が出た場合も入居者の生活や稼働率に大きく影響がでる可能性が高い為、引き続き、全職員が気を引き締めて感染対策に注力していきたい。

また、社会情勢の変化に伴い、利用者の獲得や職員の確保は年を追うごとに困難となってきた為、引き続き入居施設としても働く場としても選ばれる施設作りに取り組んでいきたい。

令和3年度は、前年度の居室改修工事に続いて、共用部分の改修工事を終えている。トイレは扉付きで空間にゆとりのある個室となったことで、快適性が向上し、職員にとっても安全に介助が行える空間となった。約2

年間続いた施設内大規模改修工事は全て終了したが、入居者の方々には、今後もコロナ問題で窮屈な思いをさせる可能性が高い為、日常生活の中に少しでも気晴らしのできるような取り組みを考えていきたい。

令和3年度統計資料

1. 施設利用状況（入所及び退所・月別延べ入所率）

| | 月間入所者数 | | | | 月間退所者数 | | | | | 月間延べ入所者数 | 平均入所率 (%) |
|----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|----|----------|-----------|
| | 家庭 | 施設 | 病院 | 計 | 家庭 | 施設 | 病院 | 死亡 | 計 | | |
| 4 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2905 | 96.83 |
| 5 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2993 | 96.55 |
| 6 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2914 | 97.13 |
| 7 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3048 | 98.32 |
| 8 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3045 | 98.23 |
| 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 3 | 2940 | 98.00 |
| 10 | 1 | 3 | 1 | 5 | 0 | 0 | 0 | 4 | 4 | 2959 | 95.45 |
| 11 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2935 | 97.83 |
| 12 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3041 | 98.10 |
| 1 | 1 | 0 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2950 | 95.16 |
| 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2736 | 97.71 |
| 3 | 0 | 2 | 1 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 2926 | 94.39 |
| 計 | 7 | 10 | 9 | 26 | 0 | 0 | 3 | 18 | 21 | 35392 | 96.96 |

2. 施設利用状況（入所期間）R4.03.31

| 区分 | 男(人) | 女(人) | 計(人) |
|---------|------|------|------|
| 1年未満 | 4 | 21 | 25 |
| 1～2年未満 | 3 | 15 | 18 |
| 2～3年未満 | 4 | 11 | 15 |
| 3～4年未満 | 4 | 7 | 11 |
| 4～5年未満 | 2 | 4 | 6 |
| 5～6年未満 | 4 | 3 | 7 |
| 6～7年未満 | 2 | 2 | 4 |
| 7～8年未満 | 0 | 3 | 3 |
| 8～9年未満 | 0 | 3 | 3 |
| 9～10年未満 | 0 | 0 | 0 |
| 10年以上 | 1 | 4 | 5 |
| 計 | 24 | 73 | 97 |

3. 施設利用状況（年齢別）R4.03.31

| 区分 | 男(人) | 女(人) | 計(人) |
|---------|-------|-------|-------|
| 60歳～64歳 | 0 | 1 | 1 |
| 65歳～69歳 | 3 | 1 | 4 |
| 70歳～74歳 | 6 | 8 | 14 |
| 75歳～79歳 | 2 | 8 | 10 |
| 80歳～84歳 | 8 | 12 | 20 |
| 85歳～89歳 | 4 | 20 | 24 |
| 90歳～94歳 | 1 | 17 | 18 |
| 95歳～99歳 | 0 | 4 | 4 |
| 100歳～ | 0 | 2 | 2 |
| 合計 | 24 | 73 | 97 |
| 平均年齢 | 79.03 | 85.36 | 84.03 |
| 最高年齢 | 90 | 102 | 102 |

4. 施設利用状況（介護度別） R4.03.31

| 要介護度 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|------|------|------|------|
| 要介護1 | 1 | 1 | 2 |
| 要介護2 | 2 | 3 | 5 |
| 要介護3 | 10 | 21 | 31 |
| 要介護4 | 7 | 31 | 38 |
| 要介護5 | 4 | 17 | 21 |
| 合計 | 24 | 73 | 97 |
| 平均 | 3.45 | 3.82 | 3.73 |

5. 保険者別数 R4.03.31

| 保険者 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|--------|------|------|------|
| 福岡市博多区 | 15 | 45 | 60 |
| 福岡市東区 | 1 | 4 | 5 |
| 福岡市南区 | 1 | 7 | 8 |
| 福岡市西区 | 1 | 0 | 1 |
| 春日市 | 1 | 6 | 7 |
| 大野城市 | 0 | 5 | 5 |
| 那珂川市 | 1 | 1 | 2 |
| 高千穂町 | 0 | 1 | 1 |
| 横浜市 | 0 | 1 | 1 |
| 長崎県対馬市 | 0 | 1 | 1 |
| 太宰府市 | 1 | 0 | 1 |
| 広域連合 | 2 | 2 | 4 |
| 計 | 23 | 74 | 97 |

6. 健康保険の加入状況 R4.03.31

| 保険の種類 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|--------|------|------|------|
| 後期高齢者 | 17 | 58 | 75 |
| 国民健康保険 | 3 | 4 | 7 |
| 医療扶助 | 3 | 12 | 15 |
| 計 | 23 | 74 | 97 |

7. 身体障がい・精神障害者手帳所持状況（人） R4.03.31

| 等級 | 1級 | | 2級 | | 3級 | | 4級 | | 計 | |
|-------|----|---|----|----|----|---|----|---|----|----|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 視覚 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 |
| 聴覚・言語 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 四肢体幹 | 6 | 3 | 1 | 7 | 1 | 2 | 0 | 1 | 8 | 13 |
| 内部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 3 |
| 重複 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 |
| 精神 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 男女別計 | 8 | 3 | 1 | 10 | 1 | 3 | 0 | 4 | 10 | 20 |
| 計 | 11 | | 11 | | 4 | | 4 | | 30 | |

フラワーハウス博多

| | | |
|----------------|-------------------------------|---|
| 1. 施設概要 | 施設所在地 | 福岡市博多区金の隈 3-24-8 |
| | 施設長氏名 | 矢加部 茂 (令和 3 年 4 月 1 日～9 月 30 日) 桑野 建治(令和 3 年 10 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日) |
| | 事業開始年月日 | 平成 2 年 10 月 24 日 |
| | 実施事業・定員 | 介護老人保健施設 (定員 138 名) (介護予防) 短期入所生活介護 (空床利用型) (介護予防) 通所リハビリテーション (定員 20 名) (介護予防) 訪問リハビリテーション 居宅介護支援事業所 (フラワー介護プランサービス) |
| 2. 沿革 | 平成 2 年 10 月 24 日 | 金隈老人保健施設 開設許可・事業開始 |
| | 平成 7 年 11 月 14 日 | 施設名称変更「金隈老人保健施設フラワーハウス博多」 |
| | 平成 11 年 8 月 1 日 | 居宅介護支援事業所フラワー介護プランサービス認可 |
| | 平成 12 年 4 月 1 日 (介護保険法施行) | 介護保健施設事業・短期入所療養介護事業・通所リハビリテーション・居宅介護支援事業開始 |
| | 平成 15 年 12 月 | 3 階～6 階全面改装終了 |
| | 平成 17 年 11 月 | 1 階・2 階全面改装終了 |
| | 平成 18 年 4 月 1 日 (介護保険法改正) | 介護予防短期入所療養介護事業・介護予防通所リハビリテーション事業開始 |
| | 平成 23 年 10 月 | 公益社団法人全国老人保健施設協会より表彰 |
| | 平成 29 年 5 月 | 訪問リハビリテーション事業・介護予防訪問リハビリテーション事業開始 |
| | 平成 29 年 6 月 | 施設大規模改修工事終了 |
| 令和 3 年 3 月 | 個室化改修工事終了 (完全個室 2 室、準個室 10 室) | |
| 令和 3 年 4 月 | 入所定員を 2 名減じ 138 名とする | |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

① 介護保健施設・短期入所療養介護事業 (定員 138 名)

年間入所者延数は 46.566 名 (1 日平均 127.6 名/利用率 92.5%) で、前年度比、794 名減 (1 日平均△2.2 名/利用率△0.2%) でした。令和 3 年 1 月に当施設で発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、残念ながら令和 3 年度の入所者が激減する結果となりました。まず、入所者数 118 名で年度をスタートし、9 月までの年度前半の 1 日平均入所者数は 123.7 人、6 か月間の数値としては開設以来、最低に近いと思われます。しかしながら、年度後半は入所者確保における営業活動の強化等、とにかく入所者確保に力を注いだ結果、前半を 8 人も上回る 131.7 人で推移し、累計 127.6 人で年度を終了しました。一方施設類型で

は感染拡大により、一部施設基準の維持にかかる特別な取り扱いを受けたものの、年度を通し「超強化型」を維持できたことは、施設経営の収入減を大きくカバー出来たと考えます。

また、入所のうち、短期利用者は、前年度比で利用者実人数 25 名増、短期入所延数でも 208 名増となり、前年度より増加傾向でした。令和 4 年度は、入所における令和 3 年度後半の勢いを維持したまま、突き進んでいきたい。

②（介護予防）通所リハビリテーション事業（定員 20 名）

令和 3 年度の通所利用者延数は 3,289 名（1 日平均 10.6 名／利用率 53%）でした。前年度比で、利用延数は 928 名増（1 日平均 1.8 名増／利用率 9%増）となりました。令和 2 年度からの新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたこと、緊急事態宣言等による利用控え等の影響は令和 3 年度も継続した結果となりました。通所事業では「人が集まる」ことを特徴とするため、支援の内容と方法・過ごし方、送迎方法等も感染対策を強化して行ってまいりました。令和 4 年度も感染対策を徹底して、老健施設の退所後の受け皿として、また、地域の高齢者の在宅生活の継続を支援する事業所としての役割をしっかりと果たしていきます。

③（介護予防）訪問リハビリテーション事業

令和 3 年度の実人数は 5 名、訪問リハビリ延数は 82 回でした。前年度比で実人数 4 名減、訪問リハビリ延数 14 回増となりました。新型コロナウイルス感染症対策として訪問事業の自粛や、訪問先の事業所の感染対策として訪問者の自粛依頼等もあり、訪問リハビリテーションの継続が困難な状況も見られました。今後も、感染対策を徹底しながら、利用者確保に努めてまいります。

④ 居宅介護支援（フラワー介護プランサービス）

居宅介護支援及び介護予防支援の延数は 870 名で月平均 72.5 名、対前年度延数 99 名増、月平均で 8.2 名増となり、年々増加傾向にありながらも特に大きく増加した年度でした。施設からの在宅復帰者の居宅サービス計画の作成や施設への入所の紹介など、利用者が切れ目なく適切な介護サービスを受けられるよう支援を行っていきます。

⑤ 第二種社会福祉事業

第二種社会福祉事業である「無料又は低額介護老人保健施設利用事業」においては、延入所者数の 10.2%の方を対象とし、社会福祉事業として、生活困難者への援助を、規程に従って行うことができました。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

運営会議をはじめとし、利用者処遇に関する課題解決や情報共有のために会議・委員会を多職種で構成し設置しています。現状では 15 の会議・委員会を設置し、延べ 176 名を構成員として運営していることから、次年度は効率性、効果性の視点を持ち、スリム化が図れるように体制の再構築を行っていきます。

コロナ感染拡大の影響を受け、全会議等を中止せざるを得ない月が数ヶ月あった

こと、施設職員の家族等を含め間接的な影響を受け、職員の出勤が叶わずに業務が滞るなどの事態も、少なからず会議・委員会活動の目標達成に支障を来した要因のひとつであると考察します。

② 行事・広報活動報告

コロナ禍となり、行事やレクレーション等が積極的に出来ない状況が継続しています。その中で、季節を感じることでできる食事を提供する、少人数で回数を分けてのお楽しみ会を開くなど工夫をしてきました。また、利用者と家族が触れ合う機会が持てるよう予約制の窓越し面会、LINE アプリを使用した Web 面会、タブレットを使用したオンライン面会の 3 つの方法で家族面会の機会が持てるよう工夫してきました。

③ 研修実施報告

介護職においては、入職時から変則業務、委員会活動、ケアプラン担当などキャリアに応じた研修を継続して行っています。また感染対策委員会、権利擁護委員会、事故対策委員会の各委員会では専門的施設内研修を年に各 2 回開催し、さらに、認知症ケア推進会議、看取りケア推進会議、在宅支援推進会議の 3 つの会議では、適宜必要な勉強会を会議内で開催しています。

令和 3 年度は認知症ケア推進会議が主催した認知症サポーター養成講座を 1 回開催し、合計 6 名の職員が認知症サポーターとなる事ができました。また、施設全体の安全管理の観点からリスクマネージャー 1 名（リハビリ係長）を配置していましたが、新たに介護職（介護主任）1 名が資格取得することが出来たため 2 名体制でリスクマネジメント委員会の運営を主体的に行っています。

令和 3 年度も、新型コロナウイルス感染症感染拡大蔓延予防対策の為に、集合型の外部研修会参加が困難な状況が続いている為、Web 等のネットワークを使用した研修を活用しながら可能な限り参加し、研修で学んだ知識を現場で活かし、その他の職員へも伝達出来るようにしていきます。

④ 苦情

受付件数は 5 件で、大きな問題に発展することなく解決済です。

入所者から 4 件、外部から 1 件の苦情でした。入所者からの苦情についてはケアに係る内容であり、職員の言葉かけ不足、配慮不足によるもので、謝罪により解決へと至っております。

外部からの 1 件については、当施設車両運行中、一般車両と接触しそうになり気を付けてほしいとの意見でしたが、謝罪により大事には至っておりません。

⑤ 事故報告

令和 3 年度の総事故件数は 299 件、うち福岡市への事故報告は 14 件、そのうち 2 件が、骨折事故でした。総事故報告件数は前年度比 97 件減少、骨折事故に関しても 4 件減少しています。その要因として、前年度の課題であった、情報共有不足が改善されヒヤリハット報告の充実、日々の気づきがその後のケアにつながったことが事故予防に結びついた結果だと思えます。

4. 総括

また、未解決の事故等も今年度はありませんでした。

⑥ ボランティア・地域交流

令和3年度も、コロナ禍の影響で一度もボランティアの受け入れや地域行事への参加ができない年度でした。ボランティアに関しては、お世話になっていたボランティアグループから、手作りのメッセージカードや作品をいただき、コロナ禍で単調な入所者の生活に笑顔とぬくもりをもたらしてくれました。そのグループの永年の活動に施設として感謝の意を表したく、年度末に「感謝状」を贈呈し、喜んでいただきました。

今後の地域交流については、コロナ禍でも何らかの形で地域の方々に貢献できることがあるのではないかと検討しており、できるだけ早期に実施していくつもりです。

まずは、冒頭の事業経過（施設利用状況）でも述べたように、令和3年1月の新型コロナの感染拡大がそのまま令和3年度前半に大きく影響し、施設利用、デイケア利用の著しい減少が収入減へとなり、第1次補正予算で下方修正しなければならぬ結果となりました。しかしながら、最終的には当期資金収支差額において500万円弱のプラスで年度を終わることができました。その要因として収入面では、年度後半の入所者及びデイケア利用者を確保するとともに、年度を通し施設類型「超強化型」の算定を維持できたことだと考えます。更に支出面では、退職者16名の後補充がタイムリーではなかった場合の人件費の支出減や入所者数減少に伴う事業費支出の減により支出を抑えられたことも要因の一つと考えます。

また、整備面では電気設備における前年度未対応分の更新、温水ボイラー及び空調設備（2～6F）の更新、更には3F～6Fフロア（2Fは令和2年度、更新済）の電動ベッドへの切り替え等を行い、ハード面の大きな整備はほぼ終了したと判断しています。次年度の設備では、非常災害発生時における業務継続のための非常用自家発電設備、コロナ対策関連（簡易陰圧装置、家族面会室等）、そして、入所者や職員のための整備や物品の充実を中心に計画していきます。

令和4年度においても、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底することはもちろんのこと、コロナの感染状況を踏まえた入所者、利用者の受け入れ基準の見直しも行いつつ、年度目標（1日平均：入所133人、デイケア15人）の達成に向けた入所者等の確保に努めます。合わせて、「超強化型」の維持、LIFE関連加算の算定も開始し、安定した施設経営に努めるとともに、今後も更なる改革を続け、地域にとってなくてはならない施設を目指していきます。

令和3年度 施設利用状況

フラワーハウス博多

| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間延数 | 月平均 | 比率 |
|----------|----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|
| 月間入所者数 | | 24 | 16 | 27 | 30 | 14 | 21 | 21 | 28 | 25 | 19 | 28 | 26 | 279 | 23.3 | - |
| 在宅 | 家庭 | 1 | 4 | 3 | 7 | 2 | 2 | 2 | 5 | 2 | 3 | 4 | 3 | 38 | 3.2 | 13.6% |
| | 施設 | 0 | 2 | 2 | 2 | 0 | 3 | 3 | 2 | 5 | 1 | 0 | 1 | 21 | 1.8 | 7.5% |
| 医療機関 | | 13 | 2 | 7 | 10 | 6 | 8 | 5 | 8 | 7 | 7 | 11 | 11 | 95 | 7.9 | 34.1% |
| 介護保険施設 | | 1 | 1 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 | 11 | 0.9 | 3.9% |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0.1 | 0.4% |
| 短期 | | 9 | 7 | 12 | 9 | 6 | 7 | 11 | 11 | 10 | 8 | 12 | 11 | 113 | 9.4 | 40.5% |
| 月間退所者数 | | 24 | 16 | 20 | 26 | 17 | 19 | 18 | 30 | 24 | 17 | 25 | 29 | 265 | 22.1 | - |
| 在宅 | 家庭 | 0 | 1 | 0 | 2 | 1 | 4 | 2 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 20 | 1.7 | 7.5% |
| | 施設 | 5 | 1 | 2 | 4 | 2 | 4 | 4 | 3 | 2 | 3 | 5 | 7 | 42 | 3.5 | 15.8% |
| 医療機関 | | 9 | 2 | 4 | 8 | 6 | 2 | 1 | 8 | 7 | 3 | 3 | 5 | 58 | 4.8 | 21.9% |
| 介護保険施設 | | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 3 | 2 | 0 | 2 | 3 | 15 | 1.3 | 5.7% |
| 死亡 | | 0 | 2 | 4 | 2 | 0 | 2 | 2 | 1 | 2 | 0 | 1 | 1 | 17 | 1.4 | 6.4% |
| その他 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0.0 | 0.0% |
| 短期 | | 8 | 9 | 10 | 10 | 7 | 7 | 8 | 14 | 9 | 9 | 11 | 11 | 113 | 9.4 | 42.6% |
| 在所者延数 | | 3,538 | 3,672 | 3,667 | 3,876 | 4,018 | 3,830 | 4,034 | 3,910 | 4,049 | 4,099 | 3,738 | 4,135 | 46,566 | 3880.5 | - |
| 日数 | | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 30 | 31 | 30 | 31 | 31 | 28 | 31 | 365 | - | - |
| 平均 | | 117.9 | 118.5 | 122.2 | 125.0 | 129.6 | 127.7 | 130.1 | 130.3 | 130.6 | 132.2 | 133.5 | 133.4 | 127.6 | - | - |
| 利用率 | | 84.2% | 84.6% | 87.3% | 89.3% | 92.6% | 91.2% | 92.9% | 93.1% | 93.3% | 94.4% | 95.4% | 95.3% | 92.5% | - | - |
| 在宅復帰率 | | 38.5% | 40.0% | 33.3% | 41.7% | 30.0% | 80.0% | 75.0% | 26.7% | 33.3% | 50.0% | 61.5% | 56.3% | 47.2% | - | - |
| ベッド回転率 | | 0.108 | 0.067 | 0.105 | 0.130 | 0.068 | 0.104 | 0.076 | 0.129 | 0.106 | 0.071 | 0.123 | 0.115 | 10.1% | - | - |
| 短期入所延数 | | 36 | 36 | 65 | 34 | 24 | 25 | 42 | 46 | 33 | 38 | 39 | 53 | 471 | 39.3 | - |
| 利用者実人数 | | 4 | 4 | 8 | 6 | 2 | 3 | 5 | 5 | 4 | 4 | 6 | 5 | 56 | 4.7 | - |
| 通所ハビリ延数 | | 273 | 225 | 223 | 257 | 249 | 284 | 336 | 356 | 338 | 265 | 202 | 281 | 3,289 | 274.1 | - |
| | 介護 | 245 | 212 | 215 | 250 | 234 | 260 | 320 | 341 | 323 | 255 | 196 | 268 | 3,119 | - | 94.8% |
| | 予防 | 28 | 13 | 8 | 7 | 15 | 24 | 16 | 15 | 15 | 10 | 6 | 13 | 170 | - | 5.2% |
| 実施日数 | | 26 | 26 | 26 | 27 | 26 | 26 | 26 | 26 | 26 | 24 | 24 | 27 | 310 | - | - |
| 平均 | | 10.5 | 9.0 | 8.6 | 9.5 | 9.6 | 11.4 | 12.4 | 14.2 | 13.0 | 16.6 | 8.4 | 15.6 | 10.6 | - | - |
| 利用率 | | 52.5% | 45.0% | 42.9% | 47.6% | 47.9% | 56.8% | 62.2% | 71.2% | 65.0% | 82.8% | 42.1% | 78.1% | 53.0% | - | - |
| 訪問ハビリ延数 | | 8 | 6 | 4 | 1 | 1 | 7 | 11 | 6 | 9 | 9 | 9 | 11 | 82 | 6.8 | - |
| 利用者実人数 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 20 | 1.7 | - |
| 居宅介護支援延数 | | 69 | 70 | 69 | 70 | 67 | 75 | 74 | 74 | 76 | 72 | 77 | 77 | 870 | 72.5 | - |
| | 介護 | 62 | 63 | 63 | 64 | 60 | 68 | 67 | 67 | 68 | 64 | 69 | 69 | 784 | - | 90.1% |
| | 予防 | 7 | 7 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 7 | 8 | 8 | 8 | 8 | 86 | - | 9.9% |

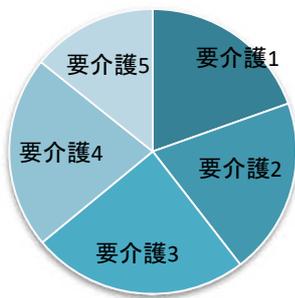
令和3年度 介護度別利用状況

(令和4年3月末現在)

【入所・短期入所】 介護度別利用者数

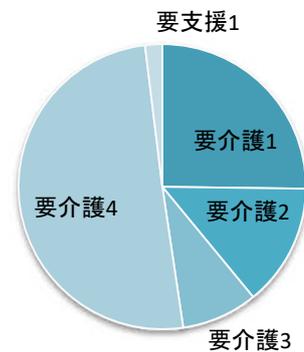
| | 年平均 | 比率 |
|------|------|-------|
| 要介護1 | 27 | 19.5% |
| 要介護2 | 28 | 20.1% |
| 要介護3 | 34 | 24.4% |
| 要介護4 | 30 | 21.8% |
| 要介護5 | 20 | 14.2% |
| 平均 | 2.91 | |

※月末時点



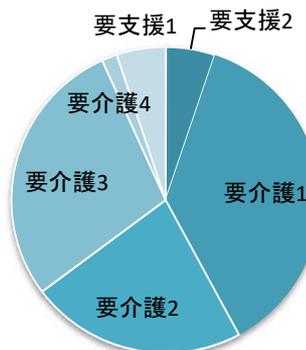
【短期入所療養介護】 介護度別利用日数

| | 年合計 | 比率 |
|-------|-----|-------|
| 要支援1 | 0 | 0.0% |
| 要支援2 | 0 | 0.0% |
| 要介護1 | 118 | 25.2% |
| 要介護2 | 65 | 13.9% |
| 要介護3 | 40 | 8.5% |
| 要介護4 | 236 | 50.4% |
| 要介護5 | 9 | 1.9% |
| R3年合計 | 468 | |



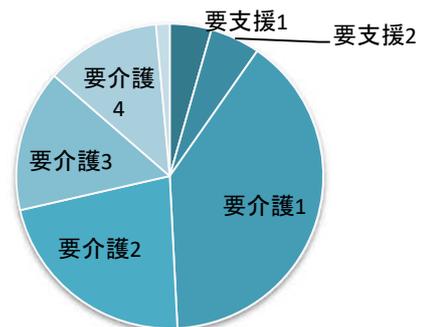
【(介護予防)通所リハ】 介護度別通所回数

| | 年合計 | 比率 |
|-------|-------|-------|
| 要支援1 | 1 | 0.0% |
| 要支援2 | 169 | 5.1% |
| 要介護1 | 1,215 | 36.9% |
| 要介護2 | 745 | 22.7% |
| 要介護3 | 938 | 28.5% |
| 要介護4 | 52 | 1.6% |
| 要介護5 | 169 | 5.1% |
| R3年合計 | 3,289 | |



【居宅介護支援】 介護度別利用者数

| | 年平均 | 比率 |
|-------|------|-------|
| 要支援1 | 3.3 | 4.4% |
| 要支援2 | 3.9 | 5.3% |
| 要介護1 | 29.4 | 39.6% |
| 要介護2 | 16.5 | 22.2% |
| 要介護3 | 11.2 | 15.0% |
| 要介護4 | 9.0 | 12.1% |
| 要介護5 | 1.1 | 1.5% |
| R3年合計 | 74.3 | |



ケアハウス エスペランザ

1. 施設概要

| | |
|---------|--|
| 施設所在地 | 福岡市博多区金の隈 3-24-53 |
| 施設長氏名 | 小川 浩 (令和3年4月1日～令和3年7月31日) 庄山 和子 (令和3年8月1日～) |
| 事業開始年月日 | 平成8年4月26日 |
| 実施事業・定員 | 軽費老人ホーム (定員150名) |

2. 沿革

| | |
|-----------|-----------------|
| 平成8年4月5日 | ケアハウス エスペランザ 認可 |
| 平成8年4月26日 | ケアハウス エスペランザ 開設 |
| 令和3年12月 | 大規模改修工事 完了 |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

入居者数は月平均143.4名/150名、入居率95.6%であった。年間の新規入居は16名、前年に比べ4名減少している。コロナウイルスの影響により、見学を断らざるを得ない現状があり、こちらから積極的に営業に出向くことも難しく、また他施設も外出ができない現状があったことが、新規入居減少の大きな原因と考えられる。

退居者数は18名で、前年に比べ4名減少している。退居先は病院が7名、死亡が6名、法人内老人保健施設(フラワーハウス博多)に入所が4名、自宅が1名だった。

平均年齢は、83.28歳(男性79.29歳、女性84.76歳)で、最高齢は女性の100歳である。

介護認定率は67%で、前年に比べて4.2%上がり、年々増加している。新規認定を受けられた方は9名だった。介護サービス別では、訪問介護の利用者が約64名で、福祉用具貸与されている方が70名と一番多い数字となった。今後も居宅サービス事業所と連携しながら、入居者が安全で、安心して生活できるよう支援していく。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

すべての会議・委員会において多職種で構成し、情報の共有を図っている。特に、新規入居受入時、入居者の介護プラン変更時、入居者間のトラブル等生じた際など、入居者の情報をすぐに共有する必要がある場合は、事故等が発生しないよう都度開催している。

② 行事实施報告

- ラジオ体操(毎日) ○ビデオ上映会(5月～7月は中止)
- レクリエーション(コロナウイルスにより5月、6月は中止)
- 誕生祭・納涼祭・忘年会の催しは中止し、特別食を提供した。秋祭りの

敬老祝賀式典は、密を避けるため2部制にして実施することができた。令和2年度は感染防止のため、入居者同士が接触することがない塗り絵や脳トレ等を主に行っていたが、令和3年度は始まりと終わりの手指消毒の徹底や換気等の感染対策をしっかりと行い、みんなで楽しめるゲームを実施することができた。外出ができない中での施設生活を充実してもらうために、職員で協力して内容がマンネリ化しないよう工夫できた。

③ 研修実施報告

福祉レクリエーション・新任職員研修、高齢者虐待防止・権利擁護研修・救命救急研修・苦情解決従事者研修等、オンラインを中心とした研修参加となった。研修参加後は、施設内において全職員で勉強会を開催し、情報の共有を図った。特に感染対策として行政の推奨する動画などを全職員が繰り返し視聴し、知識の向上に努めた。

④ 苦情

・発生件数 6件 解決件数 6件

第三者委員会へ報告する事案はなし。

令和2年度はコロナウイルスが影響して、マスクをしていない入居者への苦情が多く発生したが、令和3年度も食堂での黙食が徹底されていないなどコロナウイルスが影響する苦情が目立った。各テーブルに「黙食」のプレートの設置や斜め席の推奨、ビラ、放送での呼びかけ等、再三行っているが、楽しい食事の席ということもあり、ついつい話してしまう方がおられる。個別に注意を行ってもその時だけで同じことの繰り返しとなっているのが現状である。しかし、苦情を申し出る側も過剰なまでに神経質になり、必要以上に敏感になっている部分があり、対応に苦慮している。

コロナウイルス拡大に伴う面会禁止や思うように外出ができなかったりと入居者の皆さんはかなりのストレスを感じて、入居者同士のトラブルにつながっている。今後も入居者とのコミュニケーションをしっかりと図り、気持ちを受容し、心のケアにあたっていきたい。

⑤ 事故報告（インシデント 11件含む）

| 分類 | 転倒 | 誤嚥 | その他 | 計 |
|----|-----|----|-----|-----|
| 件数 | 19件 | 1件 | 1件 | 21件 |

事故種別は、圧倒的に「転倒」が多かった。居室内、エレベーター前、ゴミ捨て場での事故が多かった。「誤嚥」に関しては、食堂で食事を摂られている際意識がなくなり、蓄積された誤嚥が原因だった。嚥下の低下が見られる入居者に対して、早期発見に努め、これまで以上の配慮を行う。また、誤嚥しやすい食べ物（餅やパンなど）が提供される日は、食堂の立ち番職員を増員し、食事前に飲み物をまず口に含んでもらい喉を潤してから食べるよう張り紙や声かけをしたり、再発防止に努めている。「その他」に関しては、ゴミ捨て場に行く途中の食堂の扉に挟まり切り傷を負われた事故だった。

事故のうち入院となったのは3件で、そのうち骨折2件、もう1件は骨折はなかったが、歩行が不安定であり入院となった。入院に至った事故としては令和2年度より5件減少している。

事故の原因としては、本人がバランスを崩したり、ふらついたり、つまづいたりしたことが最も多くなっている。年々、入居者の筋力低下が顕著に現れているため、職員間での情報共有、ケアマネやヘルパーなどと日頃よりしっかりコミュニケーションを図り、事故が起きる前のサービス導入や福祉用具の活用等、調整して防止に努めていきたい。

感染症に関しては、コロナウイルスもインフルエンザも感染者が出なかった。引き続き放送での感染防止の呼びかけ、食堂や全館消毒、換気、マスク着用の徹底、入居者の予防意識を高めるための声かけ等に努めていきたい。

⑥ 地域交流・ボランティア

本部・洗寿園・フラワーハウス・エスペランザから職員が分担して、金の隈地区の美化活動等に参加している。コロナウイルスにより開催自体が中止となったが、終息後は積極的に参加し、地域の方に清風会を周知してもらい交流を図っていきたい。ボランティアについては、令和3年度もコロナウイルスの影響により招くことができなかった。今年度は感染者数を見ながら、感染防止に努め、開催することができたと思う。

⑦ その他

防災訓練について、9月はコロナウイルス感染防止のため、入居者の参加は見送り、防火管理者を中心に職員だけで消火や誘導の訓練を行った。

(防災訓練：3月23日実施済)

4. 総括

【対処すべき課題】

入居者の高齢化により身体機能の低下や認知症状等、介護サービスが必要な方が増加している。個々の安定した生活を支援する為に、入居者の心身の状況確認が不可欠である。入居者の食事摂取量には特に気をつけ、意識的な声掛けと笑顔の対応でより良い関係作りに努めたい。

また、新しい様式での生活を行う為の行事、食事中の会話、ソーシャルディスタンスを保つための行動により、入居者間でのコミュニケーションが減り、多くの方がストレスを抱えているように見受けられた。コロナウイルスと共存しての楽しみごとの提供を、感染予防を徹底しながら心身機能が低下しないように可能な限り達成したい。

【利用者の今後の見通しと対策】

入居率の向上を目指してきたが、コロナウイルス感染予防の為、施設内にウイルスを持ち込ませないよう、早期の入居を希望する方だけの対応となった。目標値は達成できたが、インターネットの情報だけで入居を希望される方が増えた印象を受けた。ホームページの定期的な更新や老人ホーム検索サイトの利用も検討しながら利用者確保に努めていく。

【職員状況の見通しと対策】

コロナウイルスへの感染対策で業務負担も増え、感染するかもしれないという不安を抱えながら心身の負担は大きいですが、緊張感を持って業務にあたった。4月に1名退職するが補充は行わず、4年度は11名（正9非2）にて対応する。夜間委託の警備員を含め、緊急時の対応など迅速に行うことができるようチームとしての意識を持ち支援にあたっていく。

【施設・設備の状況など】

外壁改修・屋上防水を中心とした大規模改修は無事に完了した。4年度には全館の配管清掃を予定している。防火戸を兼ねた重い扉の開閉で入居者に事故が発生している為、早急に改善策を検討したい。

【参考資料】 令和3年度統計資料

ケアハウス エスペランザ

①施設利用状況

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間延数 | 月平均 | 比率 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|
| 月末利用者数 | 144 | 147 | 145 | 145 | 144 | 144 | 144 | 141 | 141 | 143 | 142 | 141 | 1,721 | 143.4 | - |
| 男性 | 41 | 43 | 41 | 41 | 40 | 40 | 41 | 40 | 39 | 40 | 39 | 38 | 483 | 40.3 | 28.1% |
| 女性 | 103 | 104 | 104 | 104 | 104 | 104 | 103 | 101 | 102 | 103 | 103 | 103 | 1,238 | 103.2 | 71.9% |
| 入居率 (%) | 96.0 | 98.0 | 96.7 | 96.7 | 96.0 | 96.0 | 96.0 | 94.0 | 94.0 | 95.3 | 94.7 | 94.0 | 1,147 | 95.6 | - |

| 新規入居者数 | 1 | 4 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 0 | 2 | 3 | 2 | 1 | 18 | 1.5 | - |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|-------|
| 自宅 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | | 8 | - | 44.3% |
| 医療機関 | | 1 | | | | 1 | | | | | 1 | | 3 | - | 16.7% |
| ケアハウス | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | - | 5.6% |
| 有料老人ホーム・サ高住 | | 1 | | 1 | | | | | | | | | 2 | - | 11.1% |
| 介護老人保健施設(フワ-) | 1 | | | | | | | | | | | | 1 | - | 5.6% |
| 特別養護老人ホーム | | | | | | | | | | 1 | | | 1 | - | 5.6% |
| 居室移動 | | | | | | | | | 1 | | | 1 | 2 | - | 11.1% |

| 退居者数 | 0 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | 1 | 3 | 2 | 1 | 3 | 2 | 20 | 1.7 | - |
|---------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|-----|-------|
| 自宅 | | | 1 | | | | | | | | | | 1 | - | 5.0% |
| 医療機関 | | | | 1 | 1 | | 1 | 2 | | 1 | 1 | | 7 | - | 35.0% |
| 有料老人ホーム・サ高住 | | | | | | | | | | | | | 0 | - | 0.0% |
| グループホーム | | | | | | | | | | | | | 0 | - | 0.0% |
| 特別養護老人ホーム | | | | | | | | | | | | | 0 | - | 0.0% |
| 介護老人保健施設(フワ-) | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | 1 | | 4 | - | 20.0% |
| 介護老人保健施設(法人外) | | | | | | | | | | | | | 0 | - | 0.0% |
| 死亡 | | 1 | | | 1 | 1 | | | 1 | | 1 | 1 | 6 | - | 30.0% |
| 居室移動 | | | | | | | | 1 | | | | 1 | 2 | - | 10.0% |

②要介護認定状況【月別平均人数】

| 要支援1 | 要支援2 | 要介護1 | 要介護2 | 要介護3 | 要介護4 | 要介護5 | 認定率 |
|------|------|------|------|------|------|------|-------|
| 32.2 | 29.3 | 24.3 | 7.6 | 1.8 | 0.4 | 0.0 | 66.6% |

③介護サービス利用状況【月別平均利用者数】

| | |
|---------|-------|
| 金限訪問介護 | 49.3人 |
| その他訪問介護 | 17.9人 |
| 訪問看護 | 6.2人 |
| 通所リハ | 25.7人 |
| 通所介護 | 23.9人 |
| 訪問リハ | 4.8人 |
| 福祉用具貸与 | 67.7人 |

特別養護老人ホーム 東かなまち桜園

1. 施設概要

| | |
|---------|---|
| 施設所在地 | 東京都葛飾区東金町 2-13-10 |
| 施設長氏名 | 山田 栄（令和 3 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日） 山岡 寿（令和 3 年 7 月 1 日～） |
| 事業開始年月日 | 平成 25 年 4 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 介護老人福祉施設（定員 140 名） （介護予防）短期入所生活介護（定員 20 名） |

2. 沿革

| | |
|------------------|------------------------|
| 平成 25 年 3 月 29 日 | 特別養護老人ホーム東かなまち桜園 認可 |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | 特別養護老人ホーム東かなまち桜園 開園 |
| 平成 25 年 3 月 25 日 | （介護予防）短期入所生活介護事業所認可 |
| 平成 25 年 4 月 1 日 | （介護予防）短期入所生活介護事業所開園 |
| 平成 28 年 6 月 15 日 | 喀痰吸引等事業者（登録特定行為事業者） 登録 |

3. 事業経過

（1）施設利用状況

① 介護老人福祉施設

年間利用者延数は、42,492 人（1 日平均 116.4 人／利用率 83.2%）で、前年度より 2,270 人減少となった。新規入居者数は前年度と同程度の 36 名だったが、退居者数も 36 名となり入居者増には至らなかった。また、看取り対応となっている入居者も常に数名いる状態となっている。

日々の状態観察に努め、早期発見・早期受診により少しでも入院期間が短縮できるよう主に看護・介護職員のスキルアップ、多職種連携を図り、入院者が減少するよう取り組んでいくとともに、協力医療機関との連携の在り方を再構築し入院者の減少を図りたい。

入居者の減少に伴い、1 ユニットの閉鎖しているが、早急にユニットの再開に取り組みたい。

②（介護予防）短期入所生活介護事業

年間利用者延数は 5,306 人（1 日平均 14.5 人／利用率 72.6%）で、前年度より微増の 45 人増加となった。

今年度は、利用状況が改善傾向にあったが、1 月の第 6 波新型コロナウイルス感染拡大を受け、利用者の新型コロナウイルス感染やデイサービス等他の事業所でのクラスター発生等があり、1 月、2 月は利用者数が大きく落ち込む結果となった。ただし、単発での新型コロナウイルス陽性者発生では、利用予定者に告知はするものの、陰圧室の活用や感染対策の徹底によりサービスの提供は継続したため、3 月の利用者はほぼ平常並みに回復した。

特養に比べ、他の介護サービスを利用することが多い短期入所利用者は、新型コロナウイルスに感染する可能性が高いため、今後も感染対策を徹底し、新規獲得とリピート利用の定着を図りたい。また、新規利用者を継続利用に

繋げられるよう職員一人一人のスキルアップを図り、更なる稼働率向上を図りたい。

引き続き特養と連携を図り、週末や長期休暇期間などピーク時の稼働を向上させられるよう空床の利用、入居待機者の利用も併せて行ってきたい。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

施設運営会議をはじめとして、リーダー会議、ユニット会議、様々な委員会を設置している。それぞれの会議・委員会は、多職種の職員で構成されており、議事録は全職員が閲覧出来るようにして情報の共有化を図っている。令和3年度中に自然災害及び感染症のBCPを策定する予定であったが、実施できなかった。早急に策定したい。

② 行事実施報告

レク・行事委員会を中心に、年間の行事活動を行っている。今年度もコロナウイルスの影響により、施設全体で開催していた夏祭りや敬老会等、行う事が出来なかった。その分、各ユニットで家庭的な雰囲気で行事活動を行えた事は入居者に喜ばれた。

③ 研修実施報告

施設内研修は、前年度同様に同一研修の実施回数、実施時間を複数回設けて行ったり、アンケートやテスト方式など書面でも行い全職員が研修に参加している。外部研修は、回数は多くなかったがオンラインで参加した。

④ 苦情

・受付件数 2件

ショートステイ利用者の家族から、ショートステイ利用後の皮膚状態の悪化に関して苦情が2件（同一利用者）あった

⑤ 事故報告

・行政報告事故 31件

（骨折事故20件、異食1件、誤飲2件、誤嚥2件、薬物多量摂取1件、外傷1件、誤薬4件）

行政報告件数が前年度の約2倍となり、骨折件数も20件と増加している。また誤薬も4件発生しており、職員の不注意や確認不足に起因する事故が増えている。事故の検証を十分行い、事故再発防止対策を徹底するとともに職員への教育を十分に行いたい。

⑥ 地域交流

今年度も、コロナ禍で金町第一団地との地域交流は行えなかった。

その他の地域交流としては、施設内もの地域交流室を利用した地域包括支援センター主催の勉強会や、認知症高齢者家族会、地域の研修会等行われている。

4. 総括

⑦ ボランティア

今年度も、コロナ感染予防のため、ボランティアの受け入れはしていない。

令和3年度の稼働率は、特養 83.7%、短期入所 72.4%と、短期入所は若干持ち直したものの、特養は前年度をさらに下回る結果となった。

主な要因として、看取り介護の入居者の増加や前年度と同様入居者の高齢化・重度化により体調を崩され、入院や退居が多く、稼働率がなかなか回復しないことである。

対策としては、協力医療機関と連携し、施設内で実施できる早期の治療、早期の受診対応を行い、入院者を減少させるとともに入院期間の短期化を図る必要がある。また全職員が、入居者の状態の変化を速やか発見し対応できるようスキルアップを図りたい。

新規入居者の入居までの手続きの短縮を図るとともに、閉鎖ユニットの早期再開のため職員の確保も行いたい。

新型コロナウイルス感染症に関しては、職員や職員の家族が濃厚接触者になる事例は多く見られたが、職員の確保はなんとかできた。また、入居者や職員に PCR 検査陽性者や発症した事例も見られたが、感染症対策が奏功したのか幸い感染拡大はなく最小限のダメージで抑えられた。

開設より9年経過し、施設内の備品・家電製品等、修理や買い替えも増え、経費も増えたが、まず入居者の確保と短期入所の利用率向上を目指し、収入増を図るとともに、経費節減をはかり、経営状態の改善を図りたい。

①施設利用状況（入所及び退所・月別延べ入所率）

| | 月間入所者数 | | | | 月間退所者数 | | | | | 月間延べ入所者数 | 平均入所率（%） |
|----|--------|----|----|----|--------|----|----|----|----|----------|----------|
| | 家庭 | 施設 | 病院 | 計 | 家庭 | 施設 | 病院 | 死亡 | 計 | | |
| 4 | 2 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 | 3,680 | 87.62 |
| 5 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3,701 | 85.28 |
| 6 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 3 | 2 | 5 | 3,553 | 84.60 |
| 7 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 3,523 | 81.18 |
| 8 | 1 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 3,477 | 80.12 |
| 9 | 1 | 1 | 2 | 4 | 0 | 0 | 2 | 5 | 7 | 3,385 | 80.60 |
| 10 | 2 | 1 | 1 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 3,551 | 81.82 |
| 11 | 1 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3,430 | 81.67 |
| 12 | 2 | 1 | 1 | 4 | 0 | 0 | 1 | 2 | 3 | 3,634 | 83.73 |
| 1 | 1 | 1 | 1 | 3 | 0 | 0 | 1 | 4 | 5 | 3,601 | 82.97 |
| 2 | 3 | 3 | 1 | 7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3,302 | 84.23 |
| 3 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 2 | 1 | 3 | 3,655 | 84.22 |
| 計 | 17 | 11 | 8 | 36 | 0 | 0 | 14 | 24 | 38 | 42,492 | 83.17 |

②施設利用状況（入所期間）

| 区分 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|---------|------|------|------|
| 1年未満 | 9 | 25 | 34 |
| 1～2年未満 | 5 | 20 | 25 |
| 2～3年未満 | 3 | 10 | 13 |
| 3～4年未満 | 3 | 9 | 12 |
| 4～5年未満 | 0 | 8 | 8 |
| 5～6年未満 | 1 | 6 | 7 |
| 6～7年未満 | 0 | 6 | 6 |
| 7～8年未満 | 2 | 5 | 7 |
| 8～9年未満 | 2 | 11 | 13 |
| 9～10年未満 | | | |
| 10年以上 | | | |
| 計 | 25 | 100 | 125 |

③施設利用状況（年齢別）

| 区分 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|---------|------|------|------|
| 60歳未満 | 1 | 0 | 1 |
| 60歳～64歳 | 1 | 0 | 1 |
| 65歳～69歳 | 2 | 0 | 2 |
| 70歳～74歳 | 2 | 1 | 3 |
| 75歳～79歳 | 5 | 4 | 9 |
| 80歳～84歳 | 4 | 21 | 25 |
| 85歳～89歳 | 5 | 29 | 34 |
| 90歳～94歳 | 3 | 27 | 30 |
| 95歳～99歳 | 2 | 11 | 13 |
| 100歳～ | 0 | 7 | 7 |
| 合計 | 25 | 100 | 125 |
| 平均年齢 | 80.5 | 88.7 | 87 |
| 最高年齢 | 99 | 103 | |

④施設利用状況（介護度別）

| 要介護度 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|------|------|------|------|
| 要介護1 | 0 | 1 | 1 |
| 要介護2 | 1 | 4 | 5 |
| 要介護3 | 7 | 31 | 38 |
| 要介護4 | 13 | 34 | 47 |
| 要介護5 | 4 | 30 | 34 |
| 合計 | 25 | 100 | 125 |
| 平均 | 8.3 | 33.3 | 25 |

⑤保険者別数

| 保険者 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|------|------|------|------|
| 葛飾区 | 25 | 91 | 116 |
| 三郷市 | | 3 | 3 |
| 若葉区 | | 1 | 1 |
| 中野区 | | 1 | 1 |
| 松戸市 | | | 0 |
| 北区 | | | 0 |
| 足立区 | | | 0 |
| 習志野市 | | 2 | 2 |
| 千葉市 | | | 0 |
| 墨田区 | | 1 | 1 |
| 八潮市 | | 1 | 1 |
| 計 | 25 | 100 | 125 |

⑥健康保険の加入状況

| 保険の種類 | 男（人） | 女（人） | 計（人） |
|--------|------|------|------|
| 後期高齢者 | 19 | 94 | 113 |
| 国民健康保険 | 5 | 1 | 6 |
| 社会保険 | | | 0 |
| 医療扶助 | 1 | 5 | 6 |
| 組合 | | | 0 |
| 計 | 25 | 100 | 125 |

⑦身体障がい者手帳所持状況（人）

※重複を含む

| 等級 | 1級 | | 2級 | | 3級 | |
|------|----|---|----|---|----|---|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 視覚 | | | | | | |
| 聴覚 | | | 1 | | | |
| 四肢体幹 | 2 | 1 | 3 | 2 | 3 | 4 |
| 内部 | 4 | 5 | | 1 | | 2 |
| 男女別計 | 6 | 6 | 4 | 3 | 3 | 6 |
| 計 | 12 | | 7 | | 9 | |

| 等級 | 4級 | | 5級 | | 6級 | |
|------|----|---|----|---|----|---|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 視覚 | | | | 1 | | |
| 聴覚 | | | | | | |
| 四肢体幹 | | 2 | | 1 | | |
| 内部 | | 1 | | | | |
| 男女別計 | 0 | 3 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 計 | 3 | | 2 | | 0 | |

金の隈訪問介護ステーション

1. 施設概要

| | |
|---------|-------------------------------|
| 施設所在地 | 福岡市博多区金の隈 3-9-23 サブライト博多 1-1F |
| 施設長氏名 | 村田 聡洋 |
| 事業開始年月日 | 平成 30 年 8 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 訪問介護 |

2. 沿革

| | |
|-----------------|--------------------|
| 平成 30 年 8 月 1 日 | 金の隈訪問介護ステーション認可・開設 |
| 令和 1 年 6 月 | 障がい福祉サービス事業 開始 |
| 令和 2 年 1 月 | 福岡市地域生活支援事業 開始 |
| 令和 2 年 8 月 | 福岡市養育支援訪問事業 開始 |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

介護保険サービスでは今年度の年間延べ訪問回数は 4,023 回（月平均 335 回）、障がい福祉サービスの年間延べ訪問回数は 2,300 回（月平均 191 回）、移動支援サービスの年間延べ訪問回数は 206 回（月平均 17 回）。

新型コロナウイルスの影響により、介護保険サービス・障がい福祉サービスの 2 サービス共、支援キャンセルが多発した。特に障がい福祉サービスの影響が大きく、障がい者(児)の入院、濃厚接触者に複数名該当するなどして、見込回数を大きく下回る結果となった。

同じく新型コロナウイルスの影響等により、障がい福祉サービスに主だって従事する常勤職員 2 名が 3 月末で退職、採用辞退者も 2 名出ている状況。残る職員で全支援をカバーしていくことが難しい状況となっている。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

多職種の職員で構成された、全体会議や施設内研修等を実施している。職員全員が会議に一齐参加することが訪問介護事業では難しい為、朝礼や議事録等を通して共有を図っている。

② 行事実施報告

該当なし。

③ 研修実施報告

専門的な知識を深める為、行政や関係団体が実施している研修会等へ参加していたが、令和 3 年度もコロナ禍であった為、昨年同様オンライン研修に主だって参加して頂いている。又、参加者は回覧や会議等にて報告を行い、他職員へ研修内容を伝達している。

④ 苦情

該当なし。

4. 総括

⑤ 事故報告

該当なし。

⑥ ボランティア・地域交流

新型コロナウイルスの影響により、活動自粛。

【新型コロナウイルスの影響】

事業所を開設して約3年半が経過、人手不足を解消する為に採用活動を重点実施項目として毎年位置付けてはいたものの、新型コロナウイルスの影響により採用活動を思うように実施出来なかった。それに伴い、人手不足が常態化し、職員一人ひとりの心身の負担も増加することとなった。

人手不足の深刻化・収支改善スピードが鈍化したことにより、令和2年度から3年度に移行する際の正規職員の定期昇給を中止、処遇改善手当・賞与に関しても当初予定していた額から減額せざるを得なかった。それらを理由に職員のモチベーションが低下し、退職者も増える結果となった。

【他事業所への引継ぎに関して】

前述の通り、新型コロナウイルス等の影響により支援のキャンセルが多発、障がい福祉サービスに従事していた常勤職員2名が3月末で退職し、採用辞退者も2名出た為、今の人員体制でカバーしきれない利用者の引き継ぎ先を見つけることが急務となっていた。取り急ぎ、障がい者(児)の全契約者に対して事情を説明して謝罪を行い、他事業所への引き継ぎを3月末で完了している。

介護保険サービス利用者に関しても同様に、各関係機関の協力を得ながらカバーしきれない利用者の引き継ぎ先を探しているものの、大半の事業所からは人手不足を理由に断られており、今現在も調整しきれない状況にある。

結果、介護保険サービス契約者に関しては、54名の内、24名の利用者と解約、障害福祉サービスに関しては20名全員との解約に至っている。

3月末時点での契約件数は、介護保険サービス30件、障がい福祉サービス0件の合計30件の状況にある。

【対処すべき課題】

残る職員で支援を滞りなく実施していく為にも、引き継ぎ先を早急に見つけ、介護保険サービスの利用人数を調整する必要がある。今後も利用者が、安心してサービスを受け続ける事が出来るようにする為にも、各関係機関と密に連携を図り、他事業所への引き継ぎを早急に行っていきたい。又、職員のモチベーションがこれ以上下がることのないよう積極的にコミュニケーションを取りながら業務を行っていきたい。

【参考資料】 令和3年度統計資料

金の隈訪問介護ステーション

【利用人数】

| 介護保険 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 月平均 | 比率 |
|------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|------|-----|
| | 月末利用者数 | 56 | 54 | 52 | 49 | 50 | 51 | 49 | 50 | 52 | 50 | 50 | 50 | 613 | 51.1 | - |
| | 月途中解約者数 | 0 | -2 | -1 | -3 | -1 | -2 | -2 | -1 | -1 | 0 | -4 | -24 | -41 | - | - |
| | 男性 | 13 | 10 | 10 | 9 | 9 | 11 | 10 | 10 | 11 | 11 | 11 | 10 | 125 | 10.4 | 20% |
| | 女性 | 43 | 44 | 42 | 40 | 41 | 40 | 39 | 40 | 41 | 39 | 39 | 40 | 488 | 40.7 | 80% |

| 障がい福祉 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 月平均 | 比率 |
|-------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|------|-----|
| | 月末利用者数 | 16 | 16 | 16 | 16 | 15 | 17 | 16 | 16 | 16 | 17 | 17 | 17 | 195 | 24.4 | - |
| | 月途中解約者数 | -1 | -1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | -18 | -20 | - | - |
| | 男性 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 8 | 7 | 6 | 6 | 7 | 7 | 7 | 87 | 10.9 | 45% |
| | 女性 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 9 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 108 | 13.5 | 55% |

| 移動支援 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 月平均 | 比率 |
|------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|-----|-----|
| | 月末利用者数 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 25 | 8.3 | - |
| | 月途中解約者数 | -1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | -2 | -3 | - | - |
| | 男性 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 13 | 4.3 | 52% |
| | 女性 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 | 4.0 | 48% |

【区分別】

| 介護保険 | 要支援・要介護度 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|----------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| | 要支援1 | 19 | 20 | 17 | 17 | 16 | 15 | 16 | 16 | 16 | 14 | 13 | 14 | 193 |
| | 要支援2 | 12 | 12 | 12 | 13 | 12 | 13 | 14 | 14 | 15 | 15 | 17 | 15 | 164 |
| | 要介護1 | 18 | 16 | 16 | 14 | 15 | 15 | 11 | 13 | 15 | 15 | 14 | 15 | 177 |
| | 要介護2 | 6 | 5 | 6 | 4 | 5 | 7 | 7 | 6 | 6 | 6 | 6 | 6 | 70 |
| | 要介護3 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 8 |
| | 要介護4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 要介護5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 計 | 56 | 54 | 52 | 49 | 50 | 51 | 49 | 50 | 52 | 50 | 50 | 50 | 613 |

| 障がい福祉 | 障害支援区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|-------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| | 障害支援区分1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 6 |
| | 障害支援区分3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分6 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 24 |
| | 障がい児 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 14 | 14 | 14 | 14 | 15 | 15 | 15 | 165 |
| | 計 | 16 | 16 | 16 | 16 | 15 | 17 | 16 | 16 | 16 | 17 | 17 | 17 | 195 |

| 移動支援 | 障害支援区分 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 |
|------|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|----|
| | 障害支援区分1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 障害支援区分6 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 12 |
| | 障がい児 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 13 |
| | 計 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 25 |

【訪問先別】

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 比率 |
|---------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|-----|
| エスベランザ | 52 | 50 | 48 | 46 | 47 | 48 | 46 | 47 | 49 | 47 | 47 | 48 | 575 | 69% |
| 自宅 | 22 | 22 | 22 | 21 | 21 | 22 | 21 | 21 | 21 | 22 | 22 | 21 | 258 | 31% |
| 医療機関 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% |
| 有料老人ホーム | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% |
| 介護保険施設 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0% |

社会福祉法人清風会 保育園 月別利用状況

令和3年度

| 施設名 | 区分 | 定員 | | 利用状況 | | | | | | | | | | | | |
|-------|----------|-------|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| | | | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均 |
| 御幸 | 保育園 | 300 | 月初在籍 | 296 | 300 | 300 | 301 | 303 | 305 | 304 | 303 | 303 | 302 | 302 | 297 | 301.3 |
| | | | 利用率 | 98.7% | 100.0% | 100.0% | 100.3% | 101.0% | 101.7% | 101.3% | 101.0% | 101.0% | 100.7% | 100.7% | 99.0% | 100.4% |
| | 小規模家庭的 | 15 | 月初在籍 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 5 | 6 | 8 | 8 | 8 | 8 | 9 | 6.0 |
| | | | 利用率 | 26.7% | 26.7% | 26.7% | 26.7% | 26.7% | 33.3% | 40.0% | 53.3% | 53.3% | 53.3% | 53.3% | 60.0% | 40.0% |
| 五十川 | 保育園(分園含) | 309 | 月初在籍 | 303 | 306 | 307 | 309 | 308 | 311 | 311 | 311 | 311 | 310 | 310 | 311 | 309.0 |
| | | | 利用率 | 98.1% | 99.0% | 99.4% | 100.0% | 99.7% | 100.6% | 100.6% | 100.6% | 100.6% | 100.3% | 100.3% | 100.6% | 100.0% |
| | 小規模 | 27 | 月初在籍 | 21 | 20 | 21 | 21 | 20 | 21 | 22 | 24 | 25 | 25 | 25 | 25 | 22.5 |
| | | | 利用率 | 77.8% | 74.1% | 77.8% | 77.8% | 74.1% | 77.8% | 81.5% | 88.9% | 92.6% | 92.6% | 92.6% | 92.6% | 83.3% |
| 香住ヶ丘 | 保育園(分園含) | 324 | 月初在籍 | 302 | 307 | 309 | 314 | 315 | 315 | 316 | 316 | 316 | 316 | 315 | 313 | 312.8 |
| | | | 利用率 | 93.2% | 94.8% | 95.4% | 96.9% | 97.2% | 97.2% | 97.5% | 97.5% | 97.5% | 97.5% | 97.2% | 96.6% | 96.6% |
| 大塚第一 | 保育園 | 130 | 月初在籍 | 128 | 128 | 130 | 132 | 129 | 130 | 131 | 130 | 134 | 135 | 135 | 135 | 131.4 |
| | | | 利用率 | 98.5% | 98.5% | 100.0% | 101.5% | 99.2% | 100.0% | 100.8% | 100.0% | 103.1% | 103.8% | 103.8% | 103.8% | 101.1% |
| 大塚第二 | 保育園 | 130 | 月初在籍 | 121 | 121 | 120 | 120 | 122 | 123 | 128 | 131 | 131 | 133 | 134 | 133 | 126.4 |
| | | | 利用率 | 93.1% | 93.1% | 92.3% | 92.3% | 93.8% | 94.6% | 98.5% | 100.8% | 100.8% | 102.3% | 103.1% | 102.3% | 97.2% |
| 日の里東 | 保育園 | 160 | 月初在籍 | 158 | 158 | 159 | 161 | 162 | 162 | 163 | 163 | 162 | 162 | 163 | 163 | 161.3 |
| | | | 利用率 | 98.8% | 98.8% | 99.4% | 100.6% | 101.3% | 101.3% | 101.9% | 101.9% | 101.3% | 101.3% | 101.9% | 101.9% | 100.8% |
| 平等寺 | 保育園 | 200 | 月初在籍 | 158 | 158 | 158 | 159 | 160 | 161 | 162 | 162 | 162 | 164 | 164 | 164 | 161.0 |
| | | | 利用率 | 79.0% | 79.0% | 79.0% | 79.5% | 80.0% | 80.5% | 81.0% | 81.0% | 81.0% | 81.0% | 82.0% | 82.0% | 82.0% |
| 東かなまち | 保育園 | 130 | 月初在籍 | 131 | 131 | 131 | 133 | 136 | 137 | 137 | 135 | 137 | 137 | 137 | 136 | 134.8 |
| | | | 利用率 | 100.8% | 100.8% | 100.8% | 102.3% | 104.6% | 105.4% | 105.4% | 103.8% | 105.4% | 105.4% | 105.4% | 104.6% | 103.7% |
| 合計 | | 1,725 | 月初在籍 | 1,622 | 1,633 | 1,639 | 1,654 | 1,659 | 1,670 | 1,680 | 1,683 | 1,689 | 1,692 | 1,693 | 1,686 | 1,666.7 |
| | | | 利用率 | 94.0% | 94.7% | 95.0% | 95.9% | 96.2% | 96.8% | 97.4% | 97.6% | 97.9% | 98.1% | 98.1% | 97.7% | 96.6% |

在園児 月間集計表

【御幸保育園】

| | 本園 | | | | | | 家庭的保育事業 てんとうむし | | | 小規模保育所 クローバー | | | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|--------|--------|--------|-------------------|-------|-------|-----------------|-------|-------|-------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 0歳 | 1歳 | 2歳 | |
| 定数 | 30 | 52 | 53 | 55 | 55 | 55 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 315 |
| 4月 | 27 | 49 | 52 | 56 | 56 | 56 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 300 |
| 5月 | 27 | 52 | 52 | 56 | 57 | 56 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 304 |
| 6月 | 27 | 52 | 52 | 56 | 57 | 56 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 304 |
| 7月 | 28 | 52 | 52 | 56 | 57 | 56 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 305 |
| 8月 | 30 | 52 | 52 | 56 | 57 | 56 | 0 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 | 307 |
| 9月 | 30 | 51 | 54 | 56 | 57 | 56 | 0 | 2 | 1 | 1 | 0 | 1 | 309 |
| 10月 | 30 | 51 | 54 | 56 | 57 | 56 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 1 | 310 |
| 11月 | 30 | 50 | 54 | 56 | 57 | 56 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 311 |
| 12月 | 30 | 50 | 54 | 56 | 57 | 56 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 311 |
| 1月 | 30 | 50 | 54 | 57 | 56 | 55 | 2 | 1 | 2 | 0 | 2 | 1 | 310 |
| 2月 | 30 | 50 | 53 | 57 | 55 | 55 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 | 2 | 308 |
| 3月 | 30 | 49 | 53 | 56 | 55 | 54 | 0 | 1 | 1 | 2 | 1 | 3 | 305 |
| 月平均 | 29.1 | 50.7 | 53.0 | 56.2 | 56.5 | 55.7 | 0.6 | 1.6 | 1.3 | 0.4 | 0.8 | 1.3 | 307.0 |
| 利用率 | 96.9% | 97.4% | 100.0% | 102.1% | 102.7% | 101.2% | 58.3% | 79.2% | 62.5% | 20.8% | 20.8% | 31.3% | 97.5% |

【五十川保育園】

| | 本園 | | | | | | 分園 | | 小規模保育所 | | | 合計 |
|-----|-------|--------|--------|-------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 0歳 | 1歳 | 竹下 | 那珂 | 中央 | |
| 定数 | 21 | 40 | 48 | 60 | 60 | 60 | 9 | 11 | 9 | 9 | 9 | 336 |
| 4月 | 19 | 40 | 51 | 60 | 60 | 58 | 4 | 11 | 8 | 6 | 7 | 324 |
| 5月 | 20 | 40 | 51 | 60 | 60 | 58 | 6 | 11 | 7 | 6 | 7 | 326 |
| 6月 | 20 | 40 | 51 | 60 | 60 | 58 | 7 | 11 | 7 | 6 | 8 | 328 |
| 7月 | 21 | 40 | 51 | 60 | 60 | 58 | 8 | 11 | 7 | 6 | 8 | 330 |
| 8月 | 21 | 40 | 51 | 59 | 60 | 58 | 8 | 11 | 7 | 5 | 8 | 328 |
| 9月 | 21 | 40 | 51 | 59 | 60 | 58 | 8 | 11 | 7 | 6 | 8 | 329 |
| 10月 | 21 | 40 | 51 | 60 | 60 | 59 | 9 | 11 | 8 | 8 | 7 | 334 |
| 11月 | 21 | 40 | 51 | 60 | 60 | 59 | 9 | 11 | 8 | 8 | 8 | 335 |
| 12月 | 21 | 40 | 51 | 60 | 60 | 59 | 9 | 11 | 9 | 8 | 8 | 336 |
| 1月 | 21 | 40 | 51 | 60 | 60 | 59 | 8 | 11 | 9 | 9 | 8 | 336 |
| 2月 | 21 | 40 | 51 | 60 | 60 | 59 | 9 | 11 | 9 | 8 | 8 | 336 |
| 3月 | 21 | 40 | 51 | 60 | 60 | 59 | 9 | 11 | 9 | 8 | 8 | 336 |
| 月平均 | 20.7 | 40.0 | 51.0 | 59.8 | 60.0 | 58.5 | 7.8 | 11.0 | 7.9 | 7.0 | 7.8 | 331.5 |
| 利用率 | 98.4% | 100.0% | 106.3% | 99.7% | 100.0% | 97.5% | 87.0% | 100.0% | 88.0% | 77.8% | 86.1% | 98.7% |

在園児 月間集計表

【香住ヶ丘保育園】

| | 本園 | | | | | | 分園 | | 合計 |
|-----|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | 0歳 | 1歳 | |
| 定数 | 20 | 40 | 54 | 62 | 62 | 62 | 12 | 12 | 324 |
| 4月 | 18 | 33 | 59 | 60 | 61 | 61 | 4 | 6 | 302 |
| 5月 | 18 | 37 | 59 | 61 | 61 | 61 | 4 | 6 | 307 |
| 6月 | 18 | 37 | 57 | 61 | 61 | 61 | 8 | 6 | 309 |
| 7月 | 18 | 39 | 59 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 314 |
| 8月 | 18 | 40 | 59 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 315 |
| 9月 | 18 | 40 | 59 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 315 |
| 10月 | 18 | 40 | 60 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 316 |
| 11月 | 18 | 40 | 60 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 316 |
| 12月 | 18 | 40 | 60 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 316 |
| 1月 | 19 | 40 | 59 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 316 |
| 2月 | 19 | 40 | 58 | 61 | 61 | 61 | 9 | 6 | 315 |
| 3月 | 19 | 39 | 58 | 60 | 61 | 61 | 9 | 6 | 313 |
| 月平均 | 18.3 | 38.8 | 58.9 | 60.8 | 61.0 | 61.0 | 8.1 | 6.0 | 312.8 |
| 利用率 | 91.3% | 96.9% | 109.1% | 98.1% | 98.4% | 98.4% | 67.4% | 50.0% | 96.6% |

【日の里東保育園】

| | 本園 | | | | | | 合計 |
|-----|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | |
| 定数 | 12 | 28 | 30 | 30 | 30 | 30 | 160 |
| 4月 | 13 | 27 | 28 | 30 | 30 | 30 | 158 |
| 5月 | 13 | 28 | 27 | 30 | 30 | 30 | 158 |
| 6月 | 13 | 28 | 28 | 30 | 30 | 30 | 159 |
| 7月 | 14 | 28 | 29 | 30 | 30 | 30 | 161 |
| 8月 | 14 | 28 | 30 | 30 | 30 | 30 | 162 |
| 9月 | 14 | 28 | 30 | 30 | 30 | 30 | 162 |
| 10月 | 15 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 165 |
| 11月 | 15 | 30 | 30 | 30 | 30 | 30 | 165 |
| 12月 | 15 | 27 | 30 | 30 | 30 | 30 | 162 |
| 1月 | 15 | 27 | 30 | 30 | 30 | 30 | 162 |
| 2月 | 15 | 28 | 30 | 30 | 30 | 30 | 163 |
| 3月 | 15 | 28 | 30 | 30 | 30 | 30 | 163 |
| 月平均 | 14.3 | 28.1 | 29.3 | 30.0 | 30.0 | 30.0 | 161.7 |
| 利用率 | 118.8% | 100.3% | 97.8% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 101.0% |

【平等寺保育園】

| | 本園 | | | | | | 合計 |
|-----|--------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | |
| 定数 | 12 | 26 | 30 | 44 | 44 | 44 | 200 |
| 4月 | 8 | 30 | 30 | 38 | 27 | 25 | 158 |
| 5月 | 8 | 30 | 30 | 38 | 27 | 25 | 158 |
| 6月 | 9 | 30 | 30 | 37 | 27 | 25 | 158 |
| 7月 | 11 | 30 | 29 | 37 | 27 | 25 | 159 |
| 8月 | 12 | 30 | 29 | 37 | 27 | 25 | 160 |
| 9月 | 14 | 30 | 29 | 37 | 26 | 25 | 161 |
| 10月 | 15 | 30 | 30 | 37 | 25 | 25 | 162 |
| 11月 | 15 | 30 | 30 | 37 | 25 | 25 | 162 |
| 12月 | 15 | 30 | 30 | 37 | 25 | 25 | 162 |
| 1月 | 17 | 30 | 30 | 37 | 25 | 25 | 164 |
| 2月 | 17 | 30 | 30 | 37 | 25 | 25 | 164 |
| 3月 | 17 | 30 | 30 | 37 | 24 | 26 | 164 |
| 月平均 | 13.2 | 30.0 | 29.8 | 37.2 | 25.8 | 25.1 | 161.0 |
| 利用率 | 109.7% | 115.4% | 99.2% | 84.5% | 58.7% | 57.0% | 80.5% |

在園児 月間集計表

【東かなまち保育園】

| | 本園 | | | | | | 合計 |
|-----|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | |
| 定数 | 12 | 20 | 24 | 24 | 25 | 25 | 130 |
| 4月 | 6 | 20 | 24 | 26 | 27 | 28 | 131 |
| 5月 | 6 | 20 | 24 | 25 | 27 | 28 | 130 |
| 6月 | 7 | 20 | 24 | 25 | 27 | 28 | 131 |
| 7月 | 9 | 20 | 24 | 25 | 27 | 28 | 133 |
| 8月 | 11 | 20 | 24 | 25 | 28 | 28 | 136 |
| 9月 | 12 | 20 | 24 | 25 | 28 | 28 | 137 |
| 10月 | 12 | 20 | 24 | 25 | 28 | 28 | 137 |
| 11月 | 12 | 20 | 23 | 24 | 28 | 28 | 135 |
| 12月 | 12 | 20 | 24 | 25 | 28 | 28 | 137 |
| 1月 | 12 | 20 | 24 | 25 | 28 | 28 | 137 |
| 2月 | 12 | 20 | 23 | 25 | 28 | 28 | 136 |
| 3月 | 12 | 20 | 23 | 25 | 28 | 28 | 136 |
| 月平均 | 10.3 | 20.0 | 23.8 | 25.0 | 27.7 | 28.0 | 134.7 |
| 利用率 | 85.4% | 100.0% | 99.0% | 104.2% | 110.7% | 112.0% | 103.6% |

【大塚第一保育園】

| | 本園 | | | | | | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | |
| 定数 | 9 | 20 | 23 | 26 | 26 | 26 | 130 |
| 4月 | 5 | 16 | 18 | 30 | 29 | 30 | 128 |
| 5月 | 5 | 17 | 18 | 30 | 28 | 30 | 128 |
| 6月 | 6 | 17 | 19 | 30 | 28 | 30 | 130 |
| 7月 | 7 | 18 | 19 | 30 | 28 | 30 | 132 |
| 8月 | 7 | 17 | 19 | 29 | 27 | 30 | 129 |
| 9月 | 8 | 17 | 19 | 29 | 27 | 30 | 130 |
| 10月 | 9 | 17 | 19 | 29 | 27 | 30 | 131 |
| 11月 | 9 | 17 | 18 | 29 | 27 | 30 | 130 |
| 12月 | 12 | 18 | 18 | 29 | 27 | 30 | 134 |
| 1月 | 12 | 18 | 18 | 29 | 28 | 30 | 135 |
| 2月 | 12 | 18 | 18 | 29 | 28 | 30 | 135 |
| 3月 | 11 | 18 | 18 | 29 | 28 | 29 | 133 |
| 月平均 | 8.6 | 17.3 | 18.4 | 29.3 | 27.7 | 29.9 | 131.3 |
| 利用率 | 95.4% | 86.7% | 80.1% | 112.8% | 106.4% | 115.1% | 101.0% |

【大塚第二保育園】

| | 本園 | | | | | | 合計 |
|-----|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|
| | 0歳 | 1歳 | 2歳 | 3歳 | 4歳 | 5歳 | |
| 定数 | 9 | 20 | 23 | 26 | 26 | 26 | 130 |
| 4月 | 5 | 14 | 17 | 29 | 27 | 29 | 121 |
| 5月 | 5 | 14 | 17 | 29 | 27 | 29 | 121 |
| 6月 | 5 | 15 | 17 | 28 | 26 | 29 | 120 |
| 7月 | 5 | 15 | 17 | 28 | 25 | 29 | 119 |
| 8月 | 7 | 16 | 18 | 28 | 25 | 29 | 123 |
| 9月 | 7 | 15 | 18 | 28 | 25 | 29 | 122 |
| 10月 | 12 | 16 | 18 | 28 | 25 | 29 | 128 |
| 11月 | 12 | 19 | 18 | 28 | 25 | 29 | 131 |
| 12月 | 12 | 19 | 18 | 28 | 25 | 29 | 131 |
| 1月 | 12 | 21 | 19 | 27 | 25 | 29 | 133 |
| 2月 | 12 | 21 | 19 | 27 | 26 | 28 | 133 |
| 3月 | 12 | 21 | 19 | 27 | 26 | 28 | 133 |
| 月平均 | 8.8 | 17.2 | 17.9 | 27.9 | 25.6 | 28.8 | 126.3 |
| 利用率 | 98.1% | 85.8% | 77.9% | 107.4% | 98.4% | 110.9% | 97.1% |

御幸保育園

1. 施設概要

| | |
|---------|--|
| 施設所在地 | 福岡市東区千早 6-8-14 |
| 施設長氏名 | 松本 美和 |
| 事業開始年月日 | 昭和 51 年 5 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 保育所（定員 300 名） 小規模保育事業（定員 10 名） 家庭的保育事業（定員 5 名） |

2. 沿革

| | |
|----------------|--|
| 昭和 51 年 5 月 | 御幸保育園 開設許可・事業開始 |
| 昭和 51 年 4 月 | 100 名定員 |
| 昭和 54 年 | 150 名定員に変更 |
| 平成 5 年 6 月 1 日 | 170 名定員に変更 |
| 平成 12 年 | 増築・大型改修 225 名定員に変更 |
| 平成 15 年 2 月 | 御幸保育園保母休息室改修 |
| 平成 17 年 3 月 | 御幸保育園 0 歳児のトイレ改修 |
| 平成 25 年 | 園舎増改築工事 |
| 平成 26 年 | 園舎改築工事完成(27 年 2 月 23 日新園舎) 265 名定員に変更 |
| 平成 30 年度 | 300 名定員に変更 |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 3 年度は、本園・小規模保育・家庭的保育合計して標準時間 282 名、短時間保育認定 20 名、合計 302 名の園児でスタートしました。本園は月平均 301 名（利用率 100.3%）の園児を受け入れました。前年度に比べ、0 歳児クラスが随時増え、8 月には定員の 30 名の受け入れができました。小規模保育事業は、1 名スタートで月平均 2.9 名(29%)、家庭的保育事業は 3 名スタートで月平均 3 名(60%)でした。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

前年度に発生した事故案件を基に、危機管理の見直しを図るため危機管理委員会の活動を充実させ、職員への情報共有を図りました。ヒヤリハット・事故報告書の検証と対策を強化し、保護者対応を含め、職員の危機管理意識の向上に努めました。

② 行事・広報実施報告

新型コロナウイルス感染症の対策を行いながら園内・外で行事活動を行いました。保護者が参加できない行事は写真撮影するなどし、日常保育の様子を保護者に見ていただき、喜んでいただきました。

広報活動では、積極的に SNS への投稿を増やしました。地域の子育て支援として、3 回ほど園内にて子育てサークルを開催することができました。前年度に比べ園見学の希望が多く、ゆっくりと、しっかり園のアピールができるよう努めました。

③ 研修実施報告

リモート研修が中心になりました。園内研修では、リモートで『担当制保育』について一緒に研鑽することができ、職員の意識も変わり保育の質の向上を図ることができました。

④ 苦情

・発生件数 2件 解決件数 2件

(近隣駐車場の砂埃問題、保護者の送迎の際の交通マナーについて件)

近隣の駐車場の件については、園と駐車場の境のフェンスを新たに設置する事で解決しました。保護者の交通マナーについては、その都度保護者にコドモンで発信しています。

⑤ 事故報告

骨折事故2件 (腕骨折1件 鎖骨骨折1件)

1か月以上の通院を要する骨折ではありませんでした。他児とのかかわりで起こった事故ではなく、ともに単独での骨折でした。

⑥ 地域交流・ボランティア

今年度も新型コロナウイルスの影響により、地域の高齢者や中学生との交流、地域行事の参加はできませんでした。

4. 総括

新型コロナウイルスとの生活も2年目を迎え、感染対策を講じた園生活が定着してきました。日々の感染対策はもちろんのこと、行事もできることを工夫しながら行うことで園児や保護者にも喜ばれました。特に、親子レクレーションや保育参観などでは、御幸保育園の変化していく保育を伝えることができ、保護者の理解が得られたように思います。

感染症の状況としては、5月に1日間、6月に2日間休園し、年明けには『オミクロン株』の流行により、園児や職員の陽性者が発生し、クラス休園が続きました。保護者や職員に不安も募りましたが、園児、職員の健康面に注力しながら情報共有と消毒、換気など、より一層の感染予防を強化していきました。

また、「ICT化」を図るため導入したコドモンが、コロナの感染時にとっても有用でした。クラス閉鎖やお知らせなど効率的に活用でき、日常の保育記録や保護者との育児ノートにおいても業務負担の軽減ができました。

運営面においては、縦割り(3.4.5歳児)保育の実施を計画しておりましたが、数新型コロナウイルスの影響で数回の実施にとどまりました。0.1.2歳児クラスの担当制保育では、職員の密な関わり方により遊びや言語面などで成長が見られ、職員にも大きな自信となっています。

まだまだ新型コロナウイルス感染症には気を抜けない状況です。感染対策を行いながら、これからもできることを工夫し、園児の成長に影響が出ないように心がけています。

園児だけでなく、職員もそれぞれ一人ひとりの個性を大切に、自分を生かすことができる居心地の良い保育園づくりに努め、選ばれる保育園でいたいと思います。

日の里東保育園

1. 施設概要

| | |
|---------|-----------------|
| 施設所在地 | 宗像市日の里 5-3-1 |
| 施設長氏名 | 伊藤 紀子 |
| 事業開始年月日 | 昭和 51 年 4 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 保育所（定員 160 名） |

2. 沿革

| | |
|--------------|---------------------------|
| 昭和 51 年 4 月 | 日の里東保育園 開設認可・事業開始定員 60 名・ |
| 昭和 51 年 9 月 | 定員変更許可申請 定員 120 名 |
| 平成 11 年 3 月 | 2 階保育室 3 部屋改修・ホール・沐浴室等設置 |
| 平成 12 年 3 月 | 1 階保育室 3 部屋改修 |
| 平成 13 年 10 月 | 事務所・厨房等改修工事 |
| 平成 21 年 3 月 | 園庭門扉改修工事 |
| 平成 22 年 | 2 階園児用便所改修工事・建物壁面塗装工事 |
| 平成 23 年 2 月 | 避難滑り台設置工事 |
| 平成 25 年 | 外壁フェンス・園庭・フェンス塗装改修工事 |
| 平成 26 年 | 園舎改築工事・園舎完成 |
| 平成 27 年 4 月 | 定員 160 名に変更 |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 3 年度の園児数は標準時間 145 名、短時間 13 名、合計 158 名でスタートしました。新型コロナウイルスの影響で予定していた行事は中止や規模の変更等を行いました。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

月 1 回の職員会議、給食会議をはじめとし、日頃の保育について振り返り、子どもが主体的に動き遊びに集中できる部屋の配置はどのようなものかと話し合う機会としました。クラス運営会議・行事会議・危機管理会議・コドモン運営会議には、リーダーを置くことで、職員が積極的に会議に参加するようにしました。

② 行事実施報告

昨年に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止に努めなければならず行事については見直しが必要となりました。実施するにあたっては参加者の健康チェックや人数制限を設ける対応もとりました。未就園児を対象とした月一回の園開放事業は、その月の感染状況により開催の有無を判断しました。

③ 研修実施報告

今年度は参加型の研修はなくリモート研修が主となりました。リモートで行うことの良い点は、園を離れずに受講できる事、録画放送がある研修では

期間内であればいつでも受講できるといった利点がありました。

⑤ 苦情

発生件数 1 件 解決件数 1 件

新型コロナウイルスについてのお知らせが個人を特定できるような内容となっているのではないかと、という旨で法人本部「苦情受付窓口」に申し出がありました。数回、本部に対応していただき後日お詫び文章を配信し解決となりました。今後は不快な思いを与えないように十分に注意を行います。

⑥ 事故報告

該当なし

⑦ ボランティア・地域交流

保育士・栄養士の養成学校からの実習生の受け入れを行いました。実習生の体調管理にも注意が必要でした。地域の行事である夏まつりは昨年につき中止となり、園児と地域の方との交流ができませんでした。小学生による地域探検は受け入れ、園内見学や保育士に質問をすることで知識を深めていた様子です。

4. 総括

令和 3 年度利用数は延べ 1936 名、月平均では 161 名となり、昨年より利用者が増えました。

新型コロナウイルスの影響としては年度の後半に園児や職員が罹患することが多々見受けられ、その都度、保健所や市役所との対応に迫られました。

園外保育には行けなかったものの、他の行事をどのように実施すれば参加者が安心できるのか、時間の配分や参加者の移動の予測などを昨年の実施状況から学ぶことができました。大勢の参加を見込んでの開催は、保育園としての感染対策はもとより、参加する保護者の方にも十分な理解と協力が必要でした。また、地域とのかかわりでは、毎年恒例となっていた地域の祭りへの参加、町内会の高齢者との交流会も見合わせる事となりました。一方で、保育園の周囲が整備され住宅地へと変化し“新しい街づくり”が本格的に開始されました。その中で、近くにある保育園として興味を示し見学に来てくださる方も出てきました。当園に少しでも興味を示してもらえ入園に繋がれるように今後も保育園の良さを伝えていきたいです

私達の地域にも児童福祉施設をはじめ、老人施設、障がい者施設などの福祉施設が多くあり毎月、福祉連絡会という会議にも参加し、福祉施設としての役割やこれからの動向などの勉強をさせていただいています。コロナ禍である現在は福祉施設としてどんなことで地域に貢献できるのかを思案中ではありますが、福祉連絡会と市とで協力しお手伝いができるように努力していきます。

これからも職員のスキルアップ研修を計画的に行い、保護者や職員間のコミュニケーションを大切にしながら『選ばれる保育園づくり』を目指していきたいです。

五十川保育園

1. 施設概要

| | |
|---------|---|
| 施設所在地 | 福岡市博多区諸岡 3-22-7 |
| 施設長氏名 | 山下 裕子 |
| 事業開始年月日 | 昭和 53 年 4 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 保育所（定員 289 名） 分園 第二五十川保育園（定員 20 名） 小規模保育事業 ・キッズルーム那珂 （定員 9 名） ・キッズルーム那珂中央（定員 9 名） ・キッズルーム竹下 （定員 9 名） |

2. 沿革

| | |
|------------------|-----------------------|
| 昭和 52 年 9 月 6 日 | 社会福祉法人 北栄会 設立登記日 |
| 昭和 53 年 2 月 17 日 | 社会福祉法人 北栄会 設立認可 事業開始 |
| 昭和 53 年 4 月 11 日 | 定員 100 名 |
| 昭和 61 年 4 月 1 日 | 定員 120 名に変更 |
| 昭和 62 年 1 月 1 日 | 定員 140 名に変更 |
| 平成 5 年 4 月 1 日 | 定員 170 名に変更 |
| 平成 11 年 4 月 1 日 | 定員 200 名に変更 |
| 平成 23 年 9 月 1 日 | 家庭的保育室 2 部屋開所 |
| 平成 24 年 10 月 1 日 | 北栄会は清風会に吸収合併 |
| 平成 26 年 4 月 1 日 | 小規模保育室 1 か所開所、合計 3 か所 |
| 平成 27 年 3 月 5 日 | 園舎増改築 |
| 平成 28 年 4 月 1 日 | 第二五十川保育園（分園）開園 |
| 平成 30 年 4 月 1 日 | 定員 309 名に変更 |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 3 年度の五十川保育園は分園と合計して、月平均 309 名（利用率 100.0%）の園児を受け入れ、年間を通してほぼ安定した園児数を確保することができました。しかし、3ヶ所の小規模保育事業所は、月平均 22.5 名（利用率 83.3%）にとどまりました。

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症が流行し、入所が決定していた 0 歳児がリモート勤務の為、辞退するなど分園 0 歳児の入所が遅れました。分園が満員にならなければ小規模保育所は満員にはならず、9 月頃まで空きがありました。この為に入所率が落ち込みました。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動

職員会議をはじめとし、ケース会議、給食会議、衛生管理委員会、以上児会議、未満児会議、小規模会議、保育検討委員会を行いました。担任だけでなく、全職員に周知し、情報の共有を図っています。

② 行事・広報活動

新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の行事を中止・縮小しました。ホームページでは、あらゆる面で保育園の情報を開示し、フォトアルバムやSNSには、園児の日常の楽しい様子をアップしました。

③ 実施研修報告

施設内研修について経験の浅い職員が増えた事により、保育の質が下がらないように、職員会議、以上児会議、未満児会議を利用して、保育の在り方や不適切保育について討議しました。

また、社会人としての基本的なマナーを副園長・主任が講師となって研修を行いました。

④ 苦情

・受付件数 2件 解決件数 2件

このうち第三者委員への報告を希望した申出はありませんでした。今後も、保護者から信頼される保育園となるよう、教育指導を徹底していききたいと思います。

⑤ 事故報告

・アレルギー食誤食 0件

・R3年度に「新型コロナウイルス感染症」でクラス閉鎖になった件数は14件でした。その内、感染症クラスター（5人以上発症）は2件でした。

⑥ 地域交流・ボランティア

園に隣接する畑を明治屋さん・宮竹校区の皆さんと協力して作っていましたが、明治屋さんの方針が変わり、今後は五十川保育園が単独で作る事になりました。R3年度は、休作（一定期間作付けを控える）の為、一年間畑作りを休みました。

R3年度も「新型コロナウイルス感染症」の為、地域交流やボランティア交流などは出来ませんでした。

4. 総括

新型コロナウイルス・オミクロン株の流行で令和3年度も、通常の保育は出来ませんでした。残念ながら園児や保護者・職員が楽しみにしていた行事は中止や縮小を余儀なくされました。

それでも、昨年同様、職員間で話し合い、園児が楽しめる事を見つけ、近くの公園に出かけたり製作を頑張ったりと出来る範囲で精一杯の保育を行いました。

保育参観が中止になって、「保育園の様子が分からない」と言われない様に、毎日の楽しい様子等を、細目に SNS やブログで配信しました。

また、園内の掲示板などに写真付きの活動の様子などを掲載して、保護者の方に喜んで頂きました。

令和3年度は、「コロナ感染症」の為、クラス閉鎖が14件ありました。夜間に連絡が入る事もあり、その度に保健所・福岡市監査課に相談し、保護者にクラス休園などの連絡を行いました。

感染者数の増加により、行政との連絡・報告の仕方も段々と変化していきましました。先ず保健所に報告が無くなり、次は福岡市監査課のみになりましたが、年度末には「各園で判断して、自粛者リストだけ監査課にメールを送付」になりました。

令和3年度より、ICT化を図り「コドモン」を導入しましたが、「コロナ感染症」のクラス閉鎖やお知らせ等で、大変効力を発揮しました。

対象者を絞ってメール配信が出来るので、電話連絡の件数が減り職員の労力が大幅に軽減出来ました。園だよりや給食便り等、紙ベースのお便りの配布も無くなり、手間も経費も削減することが出来ました。

14件のクラス閉鎖のうち、クラスター感染になったのは、2件でした。4歳児クラス7人と5歳児クラス9人が感染しました。いずれも、軽症で解除後は元気に登園が出来ましたが、細目に換気を行い、消毒も徹底していたのに「オミクロン株」の強力な感染力には驚かされました。

職員も「コロナ感染症」に罹患したり、我が子が「コロナ陽性」の為に勤務が出来なかったりとお休みが出ましたが、コロナ感染症に関する特別休暇制度により安心して休みを取得出来ました。

現在、第7波に突入しつつありますが、まだまだ、コロナ感染症が収まる気配はありません。これまで同様に換気に気を付け、消毒の徹底を行って保育をしてく他は無いのではと思っています。

出来ない事を嘆かずに、出来る事を見つけ、皆で知恵を出し合い協力して保育を行い、この難局を乗り越えたいと思います。

また、「園児が毎日楽しいと思える保育」を目指し、思い出に残る保育を実行したいと思います。

香住ヶ丘保育園

1. 施設概要

| | |
|---------|--------------------------------|
| 施設所在地 | 福岡市東区香住ヶ丘 1-13-10 |
| 施設長氏名 | 佐野 正人 |
| 事業開始年月日 | 昭和 55 年 4 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 保育所（定員 300 名） 分園事業（定員 24 名） |

2. 沿革

| | |
|------------------|-------------------|
| 昭和 55 年 4 月 1 日 | 保育園開設 定員 100 名 |
| 昭和 59 年 4 月 1 日 | 定員 120 名に変更 |
| 昭和 60 年 4 月 1 日 | 定員 140 名に変更 |
| 平成 4 年 4 月 1 日 | 定員 170 名に変更 |
| 平成 7 年 5 月 1 日 | 定員 190 名に変更 |
| 平成 8 年 5 月 1 日 | 定員 200 名に変更 |
| 平成 11 年 4 月 1 日 | 定員 240 名に変更 |
| 平成 21 年 12 月 1 日 | 定員 24 名の松香台分園開設 |
| 平成 22 年 4 月 1 日 | 定員 294 名に変更 |
| 平成 27 年 4 月 1 日 | 新園舎完成 定員 324 名に変更 |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

※利用状況の統計表は別紙

(2) 運営報告

(内容例)

・会議・委員会活動報告

職員会議をはじめ、様々な会議を設置しています。それぞれの会議は、多職種の職員で構成されており、議事録を回覧しミーティング等を活用して情報の共有を図りました。

・行事実施報告

新型コロナウイルスの影響により、恒例行事はほとんど実施できませんでしたが、運動会や発表会、入園式、卒園式等は規模を縮小し、コロナ対策を講じた上で実施いたしました。また、昨年実施できなかった保育参観も人数を限定し、分散して実施することが出来ました。

・研修実施報告

毎月実施するケース会議にて、配慮が必要な児童に対する対処方法等について積極的に議論し、統一した対応が出来るようにしました。しかし、専門的な知識を深めるための外部研修のほとんどが中止となったため、書

籍やインターネット等の媒体を利用して保育の質向上に努めました。

- ・ 苦情報告

苦情も特にありませんでした。

- ・ 事故報告

大きな事故は特にありませんでした。

- ・ 地域交流・ボランティア

新型コロナウイルスの影響により、例年実施していた、地域の高齢者や中学生との交流等ができませんでした。

4. 総括

新型コロナウイルスの影響もあるが、R3.4月入所の新規入園児数は例年より大きく下回り前期比-12人の302人でスタートした。園児獲得に向けて職員一致団結して取り組んだ結果、当初計画以上の園児を早期に獲得することができ、最終的には平均児童数313名となった。

一方保育士採用においては苦難を極め、非常勤職員の採用が全くできなかった。そのため、慢性的な職員不足状態となり保育士にとっては過酷な労働環境となった。

新型コロナウイルスに関しては、7月下旬の感染力強いデルタ株により、当園も初めて休園する事態となり保護者の皆様に大変なご迷惑をおかけした。

その後変異したオミクロン株によって、多くの乳幼児が感染する事となったが、幸い重症化するケースはなかった。

また、1月以降においては、感染症陽性者判明時の新しい対応方法が示されたため、従来のように登園自粛をお願いする園児が劇的に少なくなった。

運営面においては、一昨年はじめた縦割り保育が3年目を迎えた。子ども達の「心の成長」を実感しながら日々の保育を行っている。

また、0歳～2歳児に行っている担当制保育での愛着が、乳幼児の人間形成という部分において非常に大きな効果を、職員だけでなく保護者も感じており当園の強みとなっている。一人一人の違いを知り、より良い保育が提供できるよう日々研鑽を積み、保育の質向上に繋げていきたいと思う。

既に、園児の獲得競争は激しくなっています。そのような中でも安定した運営を行うためには、選ばれる園であり続けなければなりません。

保育の質を向上させ、園児、保護者、職員、皆が笑顔と充実した日々を送ることで、「香住ヶ丘保育園でよかった」と言っていただけるよう子どもを中心とした保育をこれからも実践していきたいと思います。

平等寺保育園

1. 施設概要

| | |
|---------|-----------------|
| 施設所在地 | 宗像市平等寺 465-1 |
| 施設長氏名 | 内野 安子 |
| 事業開始年月日 | 平成 16 年 4 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 保育所（定員 200 名） |

2. 沿革

| | |
|------------------|-----------------------------------|
| 平成 16 年 3 月 | 社会福祉法人 藤栄会 設立認可 |
| 平成 16 年 4 月 1 日 | 定員 60 名で開設 |
| 平成 17 年 4 月 1 日 | 定員 80 名に変更 |
| 平成 18 年 4 月 1 日 | 定員 100 名に変更 |
| 平成 20 年 4 月 1 日 | 一時保育室、地域子育て支援相談室、乳児受入拡大室を保育室として変更 |
| 平成 24 年 10 月 1 日 | 藤栄会は清風会に吸収合併 |
| 平成 31 年 4 月 1 日 | 定員 200 名に変更 |

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 3 年度は 158 名でスタートし、月平均 161 名、合計 1,993 名の利用となりました。コロナ禍でしたが一時保育の受入れも積極的に行い、園児確保に努めました。

(2) 運営報告

① 会議・委員会活動報告

月 1 回の職員会議を始めとして、給食会議、ケースワーク会議、クラス会議、行事会議を行いました。各会議の内容によっては、正規職員、パート職員と分けることもありますが、各会議にリーダーを置き、職員が積極的に会議に取り組めるようにしました。全職員に周知し情報の共有を図りました。

② 行事実施報告

コロナ禍の中で楽しめる内容を考え、その様子を保護者の方にも写真掲示やホームページや SNS など伝え、子ども達の姿を知っていただきました。未就園児を対象とした月 1 回の地域開放事業は開催を見合わせました。

③ 研修実施報告

職員会議やクラス会議などで、保育の振り返りを行いクラスの出来事や悩みなどを共有し、問題解決を図りました。

今年度はリモート研修が主となり受講出来る職員が増え、研修で知り得た情報を共有しました。また、保育の質の向上を目的とした「キャリアアップ研修」も職員の半数以上が 4 項目を取得しました。

④ 地域交流・ボランティア

中学生の職場体験、保護者会主催の夏祭り、地域行事【夏祭り】など

地域の方との交流や地域開放事業は新型コロナウイルス感染予防のために中止が相次ぎました。

⑤ 苦情報告

該当なし

⑥ 事故報告書

該当なし

4. 総括

今年度は、ICTシステム「コドモン」を導入し保育士の業務効率化と負担軽減を図りました。事務作業の軽減によって子ども達と向き合う時間が増え保育活動が充実し、園での様子を保護者の方に伝えると大変喜ばれました。「コドモン」を使い園内で同じ情報を共有することで、確認漏れや伝達ミスが少なくなったように感じます。また、コロナ禍でリモートによる研修が増え、遠距離である研修に参加できたり、園内で受講できるため複数の職員が受講し保育の質を高めることにつながりました。子ども達の個性を大切にするように、働く保育士の個性を大切にし、スキルアップできるようにしたいと思います。

経営面では、前年度まで申請していなかった補助金事業の交付額が見込みより多く、当期末支払資金残高が委託費収入の30%を超えてしまいました。2年連続して30%を超えると、委託費の改善基礎分が加算停止となるため、次年度は30%を超えないよう予算管理を徹底し、調整を行いたいと思います。

一年を通して、コロナ禍での保育を職員と模索しながらいろいろなことに挑戦しました。感染症対策を行いながらの取り組みは、大変なこともありましたがこの経験をプラスに捉え、今後も様々な工夫を凝らしながら保育を行っていききたいと思います。

職員の保育の質を高め、職員・保護者の方々と協力しながら、子育て世代に選ばれる保育園となれるように、安全で安心できる保育園づくりに努めていく所存です。

東かなまち保育園

| | | |
|---------|---|--|
| 1. 施設概要 | 施設所在地 | 東京都葛飾区東金町 2-13-10 |
| | 施設長氏名 | 山岡 恭祐（令和 3 年 4 月 1 日～令和 3 年 6 月 30 日） 大森 有里絵（令和 3 年 7 月 1 日～） |
| | 事業開始年月日 | 平成 25 年 4 月 1 日 |
| | 実施事業・定員 | 保育所（定員 130 名） |
| 2. 沿革 | 平成 2 5 年 4 月 | 東かなまち保育園 開設許可・事業開始 |
| 3. 事業経過 | (1)施設利用状況 | |
| | <p>令和 3 年度は、131 名でスタートし、月平均 135 名の利用で合計 1,616 名の利用となりました。一時保育の利用は、延べ 774 名の利用と昨年度から約 300 名増となりました。また、待機児童を定期的に受け入れる待機児童緊急対策事業の児童受け入れを行いました。利用はありませんでした。</p> | |
| | | (2)運営報告 |
| | | ① 会議・委員会活動報告 |
| | | 毎月 1 回職員会議、ケース会議、給食会議の実施を行い、全体として共有すべき事項や気になる子について話し合いました。また、毎月 1 回以上、リーダー会議を実施し、職員会議とは別に近況報告や伝達事項の共有を行いました。 |
| | | ② 行事実施報告 |
| | | 新型コロナウイルス感染症の影響により 6 月までの行事は中止しましたが、内容の見直しや変更・規模を縮小して運動会、生活発表会を行いました。運動会は昨年同様、本番の様子を動画で撮影して保護者に公開し、生活発表会は動画の撮影日を別に設けるなど工夫をして実施しました。 |
| | | ③ 研修実施報告 |
| | | 経験年数が長いものについては、キャリアアップ研修を中心に参加。その他、オンラインで実施される研修に参加してもらいました。研修については、職員会議で報告の場を設け、研修内容を共有しました。また、研修報告書を提出してもらい共有できる場所にファイルしています。 |
| | | ④ 苦情 |
| | | ・発生件数 4 件、解決件数 4 件 |
| | | 近隣住民より降園時、16 時半を過ぎたら正門からは出ない約束を守っていない親子がいると 7 月に再び苦情が入る。12 月には朝も正門を閉めるよう要望が入り顧問・弁護士に相談した結果、4 月 1 日より 7 時～9 時は正門を閉めることとなる。利用者の朝の出入りもなくなり、4 月以降は苦情の入電はないため解決したと思われる。 |

⑤ 事故報告

- ・事故報告 12 件 内、病院受診 12 件、
行政へ報告が必要な重大事故 1 件

1 件児童が肘を骨折する事故が発生しました。園外保育中の公園での見守りに関するものであったため、園外保育中の見守りマニュアルを見直しました。その他事故については、口元を打ち、小帯を裂傷するなどの事故であったため 2 次的な事故につながらないように注意していく。

⑥ 地域交流・ボランティア

新型コロナウイルス感染症の影響により東かなまち桜園との交流を行うことはできませんでした。実習等の受入は行いましたが、職場体験などは実施団体から中止のお知らせが来たため地域交流的な行事は実施できませんでした。

4. 総 括

今年度も新型コロナウイルス感染症による登園自粛やまん延防止重点措置などが続き、0 才児が定員に達するまでに時間を要し、収入が大きく減少することとなりました。葛飾区から補助金が出るなど備品の購入等の補助がありました。葛飾区から補助金が出るなど備品の購入等の補助がありましたが厳しい結果となりました。

保育に関しては、行事の中止、もしくは内容や規模の縮小を行いました。昨年度も同様の経験をしているため職員が戸惑うこともなく、昨年度の反省を生かしながらかし合いを重ねるなど、コロナ禍ならではの工夫がさらにできました。来年度以降も新型コロナウイルス感染症対策は継続していく必要がありますが、行事内容のさらなる工夫やコロナ禍での新たな試みなどを取り入れて、園児が楽しめる環境をつくっていきます。

大塚第一保育園

1. 施設概要

| | |
|---------|--|
| 施設所在地 | 福岡県福岡市西区今宿町 376-1 |
| 施設長氏名 | 内田のり子（令和3年4月1日～令和4年3月30日） 黒木 祐子（園長代理）（令和4年3月28日～） |
| 事業開始年月日 | 平成30年4月1日 |
| 実施事業・定員 | 保育所（定員 130名） |

2. 沿革

| | |
|-----------|-------------------|
| 平成30年4月1日 | 大塚第一保育園 開設許可・事業開始 |
|-----------|-------------------|

3. 事業経過

（1）施設利用状況

令和3年度の大塚第一保育園は今年度職員23名、園児128名でスタートしました。月平均131人（利用率101%）の園児を受け入れました。

（2）運営報告

① 会議・委員会活動報告

職員会議をはじめとして、給食会議、ケース会議、クラス会議、行事会議、安全危機管理委員会、保育検討委員会を行いました。リーダー会議を行いながら、クラスからの意見なども出し合い検討し、担任だけではなく全職員が周知することで園児一人ひとりを見守っています。検討委員会後は問題点や疑問点の解決を図りました。

② 行事・広報活動実施報告

行事も年間を通して、担当保育士が中心となり進めていきました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が流行し、普段通りに進めることはできず、中止するものや、保護者が参加せず、園児達で進めていくなど、保護者からの理解を得ながら保育士も工夫し取り組みました。

広報活動として園内での行事、園外保育等は月ごとにブログ担当が写真をアップして参りました。また、SNSを取り入れることで、新入園児の保護者への発信や、保育の様子をほとんど見ることができていない現状で保護者に伝えることができ喜ばれています。園内での行事、園外保育の様子も玄関に掲示をして保育園での様子や活動を知っていただくよう取り組みました。園見学は随時受け入れ、保育園内を見ていただきました。

③ 研修実施報告

園内研修を行い、研修で知り得た情報を共有しました。特に安田式の研修後には実際に行いながら、報告し合うことで、保育士が園児へ伝え易いようにいたしました。WEB研修も取り入れ、充実いたしました。

また、専門的な知識を深める為に、行政や関係団体が主催する研修等へ参加しましたが、新型コロナウイルス感染症のため、キャリアアップ研修会もWEB中心になりかえって参加もしやすくなりました。

④ 苦情

該当なし

4. 総括

保護者からのクレーム、要望等をその都度受け止めながら、園長主任、担当保育士だけでなく全体で共有しながら対応に努めました。伝達漏れや、持ち物の返し忘れ、入れ間違い等すぐに改善できることは、職員と確認をしながら徹底しました。

⑤ 事故報告

該当なし

園児の生命にかかわるものではありませんでしたが、今後も大きな事故につながらないように、日々のヒヤリハットをなくすために、園児との関わり方を見直し、怪我につながらないようにいたします。また、園児の運動能力の向上につながるような遊びを考えて取り組みたいと考えます。

⑥ ボランティア・地域交流

姉妹園で就職フェアを開催し保育士の実習を受け入れ、就職につながるよう努めました。地域の育児相談会に参加し、保育園の様子を伝えながら園児の入園につながるよう努めました。

今年度は平均して利用率が100%を超えることができましたが、新型コロナウイルス感染症の影響が重なり、1・2歳児がほとんど増えない状況となりました。その中でも、夏以降に0歳児入園の問い合わせが多くなり、育児相談会にも参加して育児休業中の方や地域の方たちに大塚第一・第二保育園を広く知っていただくよう努めました。令和4年度も引き続き参加していきたいと思えます。糸島の広域利用の申請をしておりましたが、利用者はいませんでした。

感染症対策として、送迎時は保護者の園内への入室滞在時間の短縮と玄関での受け入れ対応を心掛け、清掃、消毒に努めました。また、できるだけ担任保育士が対応することで、保護者には日々の様子を伝えられるようにいたしました。予定していた行事は保護者の協力や理解を得ることで園庭において年長児のみ保護者参加の運動会を実施し、他クラスの親子運動遊びをいたしました。保育参観もテラスや外廊下からの参観としました。年明けに予定していた発表会は、福岡市内の新型コロナウイルス感染症の発症者が増え、披露を断念しビデオ販売のみといたしました。

新たな取り組みとして、1月よりペッピーキッズクラブを介し0~2歳児にも英語を取り入れる機会を持ちました。4年度も行う予定です。

また、SDGsへの取り組みの一つとして、トータルケアシステムの『紙おむつリサイクルシステム』の実証実験に参加しました。家庭からの使用済み紙おむつの回収はコスト面で断念しましたが、使用済みおむつを持ち帰る保護者の負担を軽減し、保護者がより快適に働くための支援として、また、子ども達と共に環境問題を身近に考える機会となるよう今後も園内での使用済み紙おむつのリサイクル回収に、取り組んでまいります。

職員は、みんなで協力し合い新たな保育も取り入れながら努力を重ねていきます。今後も第二保育園と共に園長主任のみならず保育士間も協力して保育を考えてまいります。

大塚第二保育園

1. 施設概要

| | |
|---------|-----------------|
| 施設所在地 | 福岡市西区今宿町 376-1 |
| 施設長氏名 | 加藤かの子 |
| 事業開始年月日 | 平成 30 年 4 月 1 日 |
| 実施事業・定員 | 保育所（定員 130 名） |

2. 沿革

| | |
|-----------------|-------------------|
| 平成 30 年 4 月 1 日 | 大塚第二保育園 開設許可・事業開始 |
|-----------------|-------------------|

3. 事業経過

(1) 施設利用状況

令和 3 年度の大塚第二保育園は今年度職員 30 名、園児 121 名でスタートしました。月平均 126.4 名（利用率 97.2%）の園児を受け入れました。

(2) 運営報告

①会議・委員会活動報告

職員会議をはじめとし、ケース会議、給食会議、リーダー会議、行事会議、保育検討委員会等を行いました。リーダー会議を行いながら、クラスからの意見なども出し合い、検討し、リーダーに頼るのではなく中堅職員も意見を出し合い、また、担任だけでなく、全職員が周知することで園児一人ひとりを見守っています。検討委員会後は問題点や疑問点の解決を図りました。

②行事・広報活動実施報告

行事も年間を通して、担当保育士が中心となり進めていきました。今年度も、新型コロナウイルス感染症が流行し、園児のみで進めていくなど、状況に合わせて行い、保護者にも参加する機会を取り入れました。

広報活動として園内での行事、園外保育等は月ごとにブログ担当が写真をアップして参りました。また、SNS を取り入れることで、新入园児の保護者への発信や、保育の様子をほとんど見ることができていない現状において、保護者にも伝えることができ喜ばれています。

③研修実施報告

園内研修を行い、研修で知り得た情報を共有しました。特に安田式の研修後には実際に行いながら、報告し合うことで、保育士が園児へ伝え易いようにしました。また、WEB 研修も取り入れ充実しました。

専門的な知識を深める為に、行政や関係団体が主催する研修等へ参加しましたが、新型コロナウイルス感染症のため、研修会も WEB 中心で行われ、キャリアアップ研修にも参加しやすい状況でした。

④苦情

該当なし

保護者からのクレーム、要望等を都度、話し合い受け止めながら、園長主任、担任保育士だけでなく全職員が知り、対応に努めました。伝達漏れや、日々の持ち物の返し忘れ、入れ間違い等はすぐに改善できたことでしたので、職員の自覚と確認を徹底してまいりました。新型コロナウイルス感染症の発症者は少なく、休園もほとんどない状況でした。

4. 総 括

⑤事故報告

該当なし

園児の生命にかかわるようなものではありませんでしたが、今後も、大きな事故につながらないように日々のヒヤリハットを見逃さず、子どもたちの運動能力を向上させ、職員の子どもへの関わり方を見直して、怪我につながらないようにいたします。

⑥ ボランティア・地域交流

地域との交流はできませんでしたが育児相談会には参加し、地域の保護者の皆様とお話ができる場ができよかったです。また、商工会からの誘いも受け次年度に向けて参加できるように計画していこうと思います。

コロナウイルス感染症は保護者の入室を制限し衛生面への配慮をしていくことで園内ではあまり増えることはありませんでした。4月当初から周囲の状況を見ながら保育をしてみましたが、運動会の形を変え園庭でできるようにクラスごとに行き、少人数参加の保育参観をしながら保護者にも子どもの姿を見る機会を作り満足していただきました。併せて写真やビデオ販売に限らず、ブログを利用しながら園内の様子を保護者や地域の方に知らせていきました。

夏以降に0歳児入園の問い合わせが増え、10月になり定員を超える人数になりました。しかしながら、今年度は1・2歳児の入所希望者が増えませんでした。外国の方の園見学に対応するため補助金を利用して翻訳機を購入しました。少しでも外国の方と会話ができるようにし入所につなげたいと考えます。現在通所中の保護者には喜んでいただいております。

また、2か月という短期間ではありましたが1歳児担当保育士が姉妹園に出向し知り得た情報をもとに少しずつ担当制に取り組みました。未満児の子どもたちがそれぞれの成長に合わせて無理なく保育が進められるように努めました。

年明けからはベッピーキッズクラブを介し0～2歳児にも英語に触れる機会を持ちました。4年度にもつなげていく予定です。

また、SDGsへの取り組みの一つとして、トータルケアシステムの『紙おむつリサイクルシステム』の実証実験に参加しました。家庭からの使用済み紙おむつの回収はコスト面で断念しましたが、使用済みおむつを持ち帰る保護者の負担を軽減し、保護者がより快適に働くための支援として、また、子ども達と共に環境問題を身近に考える機会となるよう今後も園内での使用済み紙おむつのリサイクル回収に、取り組んでまいります。

今年度初めて保育実習生を受け入れました。保育士もきちんと対応することができ、実習生からは就職依頼も受けることができました。

職員は、みんなで協力し合い新たな保育も取り入れながら努力を重ねています。

令和4年度は、これまで以上に第一保育園と園長・主任に限らず保育士も会議を通して密に情報を共有しながら、園児の受け入れが広がるように努力していきたいと思っております。